

資料2

## 令和4年度外部有識者点検対象事業一覧

## 外部有識者の所見を踏まえた概算要求への反映状況

反映状況	事業数	反映額 (百万円)
廃止	0 (0)	0 (0)
縮減	18 (27)	▲ 6,066 (▲7,279)
執行等改善	22 (18)	0 (0)
年度内に改善を検討	61 (39)	0 (0)
予定通り終了	44 (54)	0 (0)
現状通り	123 (128)	0 (0)
合計	268 (266)	▲ 6,066 (▲7,279)

※ ( ) 書きは前回 (昨年度) の数

令和4年行政事業レビュー事業単位整理票兼点検結果の令和5年度予算概算要求への反映状況調表

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況		
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容	
001	医政局	中毒情報センター情報基盤整備費	予算が一定であるが、高低など変化をつける必要はないのでしょうか。昭和61年度開始で継続的な事業と理解していますが、何か今後の方向性を一度検討する時期に来ているように思われます。予算執行は特に問題ないと思います。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
002	医政局	救急医療従事者の育成・確保	事業の内容として直接的な対象の異なる複数のものが含まれていることから、アウトプット指標についてはそれぞれ別個に設定し、全体的に検証できる体制を整えるべきである。現在のアウトカム指標は事業の直接的効果を反映するものとは言いがたい。一定の能力を有する救急医療従事者数などより事業目的に近い内容を指標として設定すべきである。引き続き一者応札の解消に取り組まれない。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討	指標については、どのような指標が適切であるのか、今後の検討課題とさせていただき、引き続き一者応札の解消に努めてまいりたい。
003-16	医政局	助産師活用推進事業	当該事業は現状維持と考えます。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
005	医政局	へき地における医療提供等の実施	医療がなければ人が居住することが困難となるため、無医地区等への支援は重要であり、国が担うべき事業である。執行率も各種指標も改善されており、引き続き適切な執行を求める。(松原由美)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
010	医政局	離島歯科診療班運営事業	本事業は、必要不可欠な事業であると理解できるため、引き続き効率的、効果的な運営に努めること。ただし、人口減少している離島で成果指標に「前年度と同程度の人数の受診」とするのは不適切。せめて「前年度以下」としてはどうか。令和元年から令和2年にかけて地区が3分の2減っているなら、予算も3分の2に減額されるはず。また、概要には、派遣が定期か随時かの区別と、活動指標には予定回数と実施回数を加えることを提案する。なお、高齢者の咀嚼と口腔衛生は、健康寿命にも影響することから、関連事業には、類似事業に留まらず、予防歯科やその他福祉施策との連携策についても概要付記することが期待される。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に図れるよう、新たな成果指標を設定することとともに、より適切な活動指標を設定すること。	-	年度内に改善を検討	成果指標については、外部有識者の所見を踏まえ、見直しを行いました。また、事業概要欄に定期派遣・随時派遣を記載するとともに、活動内容(アクティビティ)の欄には、定期派遣に対するレビューであることが分かる記載に変更を行いました。その他、派遣予定回数や実施回数を指標とすることについては、今後検討してまいりたい。
012	医政局	医療施設経営安定化対策費	R3年度の実施の医療法人の事業報告書等の電子化およびデータベース構築調査は、エビデンスに基づく政策決定に向け重要な調査と認識しております。本調査により迅速な経営環境分析に早期につながることを期待したい。今後も、引き続き適切な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
013	医政局	救急患者の受入体制の充実	アウトカム指標の低下、予算の追加(予備費)等から、救急患者ニーズが増加し、受け入れがより難しくなっている。環境変化に対応し、適切に予算を確保しつつ、体制の強化を進め、アウトカムの改善に努めて頂きたい。事業概要③~⑥について、アウトプットおよびアウトカムの設定がなく点検がなされていないことから⑤、⑥はR4年度からの事業につき、今回点検は不要)、適切な指標を設定し、事業の点検を行うべきである。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討	指標については、どのような指標が適切であるのか、今後の検討課題とさせていただき、引き続き一者応札の解消に努めてまいりたい。
014	医政局	医療施設の設備整備の支援	昭和54年度からの事業であり、今後の方向性についてご検討いただきたいと思います。執行率の変動差が大きいに思いますが、100%程度を目指して予実管理を今後お願いいたします。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
015	医政局	医療施設等施設整備費補助金	令和2年度以降の執行率が低調に推移している理由がCOVID-19関連であればやむを得ないが、そうでない場合には予算積算の適正化を検討する必要がある。アウトプット指標・アウトカム指標については単に前年度実績によって設定するのではなく、想定される需要やそれに対する割合などを用いて客観的に算出することが望まれる。一つの事業の内部に大きく性格を異にする内容が含まれていることから、それぞれに対応したアウトプット指標・アウトカム指標を個別に設定し、全体的な状況に関する評価を可能にすることが強く望まれる。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。	-	年度内に改善を検討	どのような成果指標が適切であるのか、今後の検討課題とさせていただき、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。
029	医政局	病院前医療体制充実強化事業	心肺停止状態の患者に対する対応に関する情報は広く知られるようになりました。救急搬送される前の対応が必須とされる中、地域での医療体制の整備に必要な事業と認められます。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
030	医政局	医療施設等災害復旧費	災害時の医療施設復旧は命に直接的に関わり、かつ地域に安全をもたらすためにも、経済的安定をバックアップするためにも重要であり、国の補助を要する。見積を取らせるなど、効率性にも取組み、適切である。今後も適切な執行を引き続き求める。(松原 由美)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
031	医政局	臨床研修費	臨床研修を支援する重要な事業であり、研修医、プログラム責任者とも満足度の目標も成果実績も高まっており、努力が伺える。今後も引き続き効率的効果的な事業の推進に努めていただきたい。については、平成16年度からすでに20年近く経つ事業であり、プログラム責任者と研修医の間には20~15%の差があることから、今後は実施方法についてさらに改善を進めていく段階にある。現在点検結果と改善方向性に「適正に執行している」と記されているが、これだけでは何によって適正と判断しているのかが不明である。具体的に付記するか、予め事業概要欄に記しておくか、もしくは、何をもちって満足としているのかに関して、アウトカム、アウトプットの指標を加えることを提案する。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に図れるよう、新たな成果指標を設定することとともに、より適切な活動指標を設定すること。	-	年度内に改善を検討	ご指摘踏まえ、事業の効果測定を適切に図れるような成果指標や活動指標について検討してまいりたい。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況		
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容	
032	医政局	歯科医師臨床研修費	引き続き適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
039	医政局	歯科健康診査等推進事業	H30年度より継続して実施しているので、本事業の成果指標(例えば歯科健診率等)を設定し、本事業の成果を点検すべきではないか。R4年度事業終了となっていることから、これまでの本事業の成果をまとめ、本事業の有効性を検証しておくこと。アウトプットが委員会・部会の回数になっている一方、単価は報告件数となっており、合致しない。執行額を説明するより適切な活動指標を設定し点検すべきである。執行率が低い状況が継続しているが、R4年度が予算が大幅な増加となっている。一方、アウトプットは減少し、単価が急増していることから、R4年度の増額理由と適切な執行計画となっているか点検し、記述すべきである。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に図れるよう、新たな成果指標を設定することとともに、より適切な活動指標を設定すること。また、一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討	成果指標については、どのような指標が適切であるのか、今後の検討課題とさせていただき、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。また、調達状況についても改善が図られるよう継続して取り組んでまいりたい。
042	医政局	中央ナースセンター事業	随意契約による調達が散見されます。理由については了解しておりますが、価格交渉などを不断にさせていただき、効率よい事業運営をお願いいたします。(井出 健二郎)	現状通り	効率的な事業運営を行うために随意契約であっても価格交渉などを行うことで、適正な執行に努めること。	-	現状通り	価格交渉を行うことで、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。
043	医政局	看護職員確保対策特別事業費(団体分)	予算額に大きな変動がある一方、実際に執行されている額は安定していることから、予算要求の額について適正化することが必要である。就業看護職員数をアウトカム指標としているが、本事業以外の社会情勢等も大きく影響すると考えられる値であり、より直接的な政策の効果を代わりに設定することが望ましい。また、本事業に含まれる複数の取り組みそれぞれについて効果を検証し、以降の補助額等に反映させる仕組みを確立することが望まれる。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に図れるよう、新たな成果指標を設定すること。	-	年度内に改善を検討	成果指標については、どのような指標が適切であるのか、今後の検討課題とさせていただき、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。
044	医政局	女性医療職等キャリア支援モデル普及推進事業	子育て等で医療現場を離れる女性医療職の医療現場復帰を促す事業は必須と考えます。本事業の現状維持を支持します。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
051	医政局	2020東京オリンピック・パラリンピック大会開催に伴う救急医療提供体制整備事業	事業は終了しても、事業の価値が終わるわけではない。執行率8%となるなど変化要因が多かった経験を含め、本事業経験を他の大会等に生かしていただきたい。(元吉 由紀子)	終了予定	令和3年度限りの事業ではあるが、執行率が低調であったことを踏まえ、別の大会等で同様の予算が必要な場合は、本事業を反省として活かすこと。	-	予定通り終了	令和3年度をもって終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
053	医政局	ICTを活用した医科歯科連携の検証事業	適切に執行されている。あり方を検証する事業であれば、事業期間=事業の終了年度を設定して実施する事が望ましいと思われる。今後、終了期間を検討すること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
054	医政局	歯科保健医療情報収集・分析等推進事業	必要な事業と認識しています。ただし、専門性もあり、一者応札ということは理解していますが、可能な限り競争性の確保を今後ともご検討いただきたいと思います。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討	ご指摘を踏まえ、一者応札の要因を分析するなど改善を図り、競争性を確保できるよう努めてまいりたい。
055	医政局	リアルワールドデータ研究利活用基盤整備事業	研究開発等を推進する基盤整備の方策を検討するための事業であり、固有のアウトカム指標は持たないものと整理することが適切ではないか。少なくとも現状のアウトカム指標(JRCTに掲載される介入研究数)は本事業の進展度合いを反映するものとは考えにくい。引き続き一者応札の解消に取り組まれない。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討	事業の効果測定については、令和4年度の事業の成果を踏まえて、適切な成果指標の見直しを検討する。一者応札の改善にあたっては、周知期間をより長く確保するために、公告期間の延長、調達時期の前倒し等の調達スケジュールの見直しを検討する。
056	医政局	総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業	総合診療開始の養成は地域医療体制の構築に必須であると考えられます。補助金支出先が各自治体にある国公立大学医学部と考えられますが、必要性が高いものの予算の執行率が低く、補助金を受け入れる大学の医学生の教育臨床体制が整っていないのではないかと推測されます。各大学の総合診療科医師の養成体制を熟知したうえでの予算確保を考えるべきではないでしょうか。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	本事業は、令和2年度からの新規事業であり、令和3年度の執行率は前年度よりも改善されている。引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
057	医政局	OSCEの模擬患者・評価者養成及び評価の在り方に係る調査・実施事業	293百万円が適正なのか否かは、この資料で判断できないが、執行率が改善され、執行されている。(松原 由美)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
059	医政局	医療用物資の備蓄等事業	今回の感染症拡大の学びとして医療用物資備蓄の必要性が認識された。現下の新型コロナウイルスの感染再拡大ならびに新たな感染症発生時に向け今後も備蓄の適正な入れ替えや透明性の高い調達を効果的効率的に行っていくこと。但し、国・各医療機関における医療物資備蓄の適正なあり方については今後検討が必要がある。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めるため、医療用物資の備蓄等事業は事項要求で進めることとなった。
060	医政局	人工呼吸器の確保事業	R2年度の機器確保は必要な事業と理解する。機器確保3,796台に対し、R3年の無償譲渡した2,050台との差分はどうなっているのか、今後どのように対処するのか説明すべきである。購入機器(2百万円/台×2,050台)を無償譲渡しており、その理由を点検結果に記述している点は適切である。(栗原 美津枝)	終了予定	得られた知見は、新型コロナウイルス感染症や他の感染症対策において活かすこと。	-	予定通り終了	本事業は終了するが、得られた知見は、新型コロナウイルス感染症や他の感染症対策において活かしていく。
061	医政局	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う実習病院等負担軽減のための看護師等養成施設等における実習補完事業	事業終了という記載がありますので一区切りされる事業と理解しています。結果として本事業の成果検証などもお願いし、必要であればさらにブラッシュアップされた新事業としてご検討ください。(井出 健二郎)	終了予定	得られた知見は、他事業で活かすこと。	-	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
062	医政局	個人防護具・医療機器等の国内生産・輸入実態調査把握等のための調査事業	事業の内容・必要性については十分に示されているが、調査に時間を要するなど執行状況にやや遅れが見られており、改善が期待される。引き続き一者応札の解消に取り組みたい。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討 一者応札となった案件について、複数業者が入札に参加できるよう仕様書等の見直しを行う。
063	医政局	全国の病院等を検索できる医療情報サイトの構築	当該医療情報サイトの構築は必須の事業と認められます。ただ、点検・改善結果にありますように、一者応札が続くことがないように、所管部局の対応をお願いします。(増田 正志)	終了予定	本事業はデジタル庁へ移管するため、令和3年度をもって終了すること。また、一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	予定通り終了 本事業はデジタル庁へ移管するため、令和3年度をもって終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。一者応札となった案件について、十分な引継ぎ期間を確保できるよう、早期の公告・入札手続を行う等、一者応札の改善に取り組んでまいりたい。
064	医政局	医療コンテナ調査分析事業	社会的意義が大きく国が行う必要がある事業。執行率が低いですが、競争入札の結果であり適正と考える。(松原 由美)	終了予定	本事業で得た今後の災害時医療における医療コンテナの活用可能性を別事業等で適切に活かすこと。	-	予定通り終了 当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
065	医政局	広域災害・救急医療情報システム(EMIS)機能拡充経費	事業目的が「大規模災害発生時の医療提供体制を確保する」重要事業で、優先度が高い事業であるため、「システム改修に時間を要するため」との理由を付すだけで全額繰り越されている状況は残念である。繰越額の評価理由からは妥当とは言えず△として、点検結果に記載された理由を右欄に記し、改善の方向性には今後への運用改善策を記して今後の仕様書作成に生かしていただきたい。(元吉 由紀子)	終了予定	本事業はデジタル庁へ移管するため、令和3年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
066	医政局	医療提供体制構築を支援する医療機関等情報支援システム(G-MIS)の機能拡充	引き続き適正な事業執行に努めること。今般の新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い開発及び利用開始がなされたシステムではあるが、平時での活用が継続的活用がなされるとのこと。現下の感染症対策が落ち着いた際には、緊急時における利用率や利用状況を踏まえ丁寧に事後検証を行うことが重要。(横田 響子)	終了予定	本事業はデジタル庁へ移管するため、令和3年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
067	医政局	医療施設ブロック塀整備事業	執行率が低く、その要因であるブロック塀改修施設数が当初見込みを大きく下回っている。終了年度のR5年度迄に危険なブロック塀の改修工事が進捗するよう、医療機関にさらに働きかけ、執行率を上げるべきである。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	執行率の改善を図ること。	-	執行等改善 災害時等における医療提供体制の充実・強化を図るために必要な事業ではあるため、各都道府県や医療関係団体への周知を行い、執行率の改善に努める。
068	医政局	災害拠点精神科病院等整備事業	事業の必要性は認識しました。進捗状況をお聞きしましたので鋭意努力いただきたいと思えます。もし継続して執行が低調であれば、減額あるいは過年度実績額を検討することも視野に入れてください。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	今後執行率の推移を踏まえて、適切に予算要求額を見直すこと。	-	執行等改善 評価結果を踏まえ、令和5年度要求額については、適切な予算要求額に見直しをした。
069	医政局	医療施設非常用通信設備整備事業	事業が大きな重要性を持つことは首肯できるが、予算の執行率・整備が行なわれた施設数とも極めて低い数字に留まっている。補正予算により創設された補助制度でありただちに実現しがたかったという説明も首肯することができるが、結果的に医療施設の非常用通信設備をめぐる現状がどのようになっているかを把握し、必要であれば代替的な施策を講じることによって改善へと結び付けることが強く期待される。(大屋 雄裕)	終了予定	令和3年度限りの事業ではあるが、予算執行が低調であったことから、事業の総括を行い、適宜反省点を活かすこと。	-	予定通り終了 当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
070	医政局	医療施設浸水対策事業	医療機関が浸水被害を受けたことは記憶に新しいところです。物理的な設置場所によって浸水被害を受けるリスクが高い期間は少なからずあるものと思いますが、あまりにも予算の執行率が低く、浸水対策に要する必要資金と当該補助金に大きな乖離があるのではないのでしょうか。浸水対策事業の在り方を再検討するべきではないのでしょうか。(増田 正志)	事業内容の一部改善	執行率の改善を図ること。	-	執行等改善 災害時等における医療提供体制の充実・強化を図るために必要な事業ではあるため、各都道府県や医療関係団体への周知を行い、執行率の改善に努める。
071	医政局	医療施設給水設備強化等促進事業	災害が世界一多い日本において重要な行政事業である。適正な予算執行に留意すること。(松原 由美)	事業内容の一部改善	執行率の改善を図ること。	-	執行等改善 災害時等における医療提供体制の充実・強化を図るために必要な事業ではあるため、各都道府県や医療関係団体への周知を行い、執行率の改善に努める。
072	医政局	医療施設非常用自家発電装置施設整備事業	「大規模災害に備え」「国の関与のもと、適切かつ迅速に実施すべき」事業の重要性と優先度の高さから、不用率・繰越額が大きい状況は安易に看過されるべきではない。点検結果に記載された理由をもとに、事業概要の周知だけでなくより迅速な整備を図れるよう事業内容についても、受益者負担割合の特例や計画策定に関する支援策など検討する必要がある。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	執行率の改善を図ること。	-	執行等改善 災害時等における医療提供体制の充実・強化を図るために必要な事業ではあるため、各都道府県や医療関係団体への周知を行い、執行率の改善に努める。
073	医政局	看護師等養成所におけるICT等の整備事業	終了事業ではあるものの、不用額が大きく生じた要因の解明、ICT教育導入状況の地域差などの分析から今後の適正な在り方について検証が必要であり検討を行うこと。(横田 響子)	終了予定	令和3年度限りの事業ではあるが、予算執行が低調であったことから、事業の総括を行い、適宜反省点を活かすこと。	-	予定通り終了 当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
074	医政局	かかりつけ医機能の強化・活用に係る調査・普及事業	民間事業者が行う事業への補助として、必要な補助期間=終了期間を検討し設定すること。アウトプットが委員会開催回数となっており、委員会1回あたりの単価が7.7百万円(R4年度は15百万円)と算出されている。執行額を説明するより適切なアウトプットを設定し、単価を含めた事業費の適正性を点検すべきである。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。	-	年度内に改善を検討 活動指標については、どのような指標が適切であるのか、今後の検討課題とさせていただくとともに、終了期間についても検討させていただき、次年度のレビューシートに反映させてまいりたい。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況		
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容	
075	医政局	緊急災害時在宅酸素療法患者支援事業	年度での終了した事業であることを確認しました。手引きは現時点では適切なものと思いますが、支援体制や状況の変化に応じて、さらにグレードアップさせて有効な手引きとしてください。(井出 健二郎)	終了予定	令和3年度限りで終了する事業ではあるが、作成された手引きを有効活用されたい。	-	予定通り終了	予定通り令和3年度をもって終了する。なお、当該手引きを有効活用し、在宅酸素供給装置保守点検業務の質の向上、ひいては在宅酸素療法患者が安心できる在宅療養の環境整備を進めてまいりたい。
076	医政局	新たな救急救命士制度に関する普及啓発事業	入札の手法・内容について改善し、令和4年度において事業内容が十分に実施されるよう期待する。(大屋 雄裕)	終了予定	令和3年度執行不調であり、予定通り令和4年度で終了すること。	-	予定通り終了	令和4年度をもって終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
079	医政局	医師等の地域偏在・診療科偏在対策に向けた調査事業	利用率は、経費削減された結果ということでよい成果と認められる。今後は、これを反映した適切な予算化を期待する。また、関連事業に記された「専門医認定支援事業」右欄には、相互との関連性と有効な連携策について付記しておくことが望まれる。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	今後の執行率の推移も踏まえて、適切な予算額となるよう必要に応じて見直しすること。	-	年度内に改善を検討	執行率を踏まえ、令和4年度において、事業内容の見直しを行い、予算要求額へ反映しているところ。引き続き必要な見直しを行い、適正な執行に努めてまいりたい。また、本事業と専門医認定支援事業の関連性や有効な連携策についてそれぞれ付記することとした。
080	医政局	医師・歯科医師・薬剤師統計のオンライン化に係る調査事業	単年度事業。調査結果をもとにオンライン化を速やかに進め迅速な調査分析を行う環境づくりに努めること。また構築後も現場フィードバックの収集など改善に活かしていくこと。(横田 響子)	終了予定	令和4年度の医師・歯科医師・薬剤師による届出のオンライン化に向けて、実態調査等行ったものであり、令和3年度に予定通り終了とする。	-	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
081	医政局	OSCEの在り方・評価者養成に係る調査・実証事業	R3年度からの事業であるが、R6年度の公的化に向け、高い執行率等適切に執行が始まっている。公的化が始まる時期を勘案した終了年度、そこに向けた各種の目標値をアウトカムとして設定し、進捗と成果を管理すべきではないか。アウトカムとしては、評価者数等のより適切な指標を設定し、進捗を点検する事が望ましい。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。	-	年度内に改善を検討	ご指摘踏まえて、事業をより適切に評価できる新たな成果指標を検討させていただき、次年度のレビューシートに反映させてまいりたい。
082	医政局	歯科疾患実態調査	R4年度には目標に対して有効な費用を投じ、効果が発現するよう期待しております。(井出 健二郎)	終了予定	令和3年度は調査を実施出来ていないが、令和4年度は適切に事業を行うとともに、令和4年度には終了とすること。	-	予定通り終了	令和4年度に調査を行い、予定通り終了の見込みである。
083	医政局	人生100年時代の看護職キャリア継続支援ツール作成事業	計画に比してやや実現が遅れている状況にあると思われるが、当初の議論に時間をかけたことの正当性は首肯することができる。計画の着実な実現に努力すること、引き続き一者応札の解消に向けて努力することが望まれる。(大屋 雄裕)	終了予定	予定通り令和4年度で終了とすること。一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	予定通り終了	予定通り令和4年度で終了とするが、ご指摘踏まえ令和4年度の調査にあたっては一者応札の要因を分析し、改善を図ってまいりたい。
084	医政局	新型コロナウイルスの影響に係る看護職員卒業後フォローアップ研修事業	コロナ感染症は看護職にとっても過去に経験がない事態で、大きな負担となっている。現状の理解のための臨地実習の必要性は認められるが、令和2年度からの事業でその執行率が低い。本事業の更なる展開が必要と考えます。(増田 正志)	事業内容の一部改善	今後の執行率の推移も踏まえて、適切な予算額となるよう必要に応じて見直しすること。	-	年度内に改善を検討	令和4年度の予算額の見直しは行ったところであるが、今後も必要な予算の確保と適正な執行に努めてまいりたい。
050	医政局	集中的技能水準向上に向けた対応事業	2024年に向けて、医療現場の混乱が心配されている。引き続き取組みを進め、適正な執行に努めること。(松原 由美)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
052	医政局	病院薬剤師を活用したタスクシフティング	R4年の追加調査については競争的に入札に努め、引き続き適切な事業執行に努めること。また本事業の目的を踏まえ、専用サイトの閲覧数など事業効果の検証材料となる適切なアウトプット・アウトカムの追加設定を検討すること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。	-	年度内に改善を検討	成果指標等について、所見を踏まえた見直しを検討する。
077	医政局	医療勤務環境改善好事例普及展開事業	医師の働き方改革が言われていますが、特に勤務医の勤務環境は極めて厳しい状態にあります。その改善施策の検討は急務であり、その一丁目一番地としての好事例の収集と公表は必要な事業と考えられます。ただ、極めて限られた予算でコンサル会社への発注、期待している効果が得られるか懸念されるところです。(増田 正志)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成する見込みであるため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
078	医政局	長時間労働医師への面接指導の実施に係る研修事業	引き続き適正な執行を求める。(松原 由美)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
095	医政局	治験・臨床研究参画コーディネートモデル事業	執行率が低い改善されてきており、何よりニーズがあり、競争入札などで効率化できた結果のため、適正と考える。(松原 由美)	終了予定	予定通り令和3年度限りで終了とする	-	予定通り終了	予定通り令和3年度限りで終了とするが、得られた知見は他の事業にも活用する。
096	医政局	「医療のお仕事 Key-Net」を活用した医療人材の確保	支出先が一社しかないとのことであるが、「医療のお仕事Key-Net」の設立業者と同じだったのか。本事業は新型コロナ禍の非常時に緊急対応した内容と認められるが、今後デジタル庁一括取扱いされるにあたっては、次の非常時も視野に入れ、介護士、保育士など各職種の求人サイトとの連携可能性や課題なども付記されることを期待する。(元吉 由紀子)	終了予定	本事業はデジタル庁へ移管するため、令和3年度をもって終了すること。	-	予定通り終了	本事業は令和3年度をもってデジタル庁へ移管したが、得られた知見は今後の事業にも活用する。
103	医政局	歯科医師臨床研修指導医講習会費	オンライン・実地での実施数・受講者数など実績を検証し、今後の目標記載の再検討を行うとともに適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	執行等改善	令和4年度から対面及びオンラインでの講習会の開催を要綱に明記し、事業者を公募しております。今後とも適切な事業実施に努めてまいりたい。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況		
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容	
111	医政局	看護教員教務主任養成講習会事業(団体分)	受講対象者数を考慮して都道府県での実施から国の実施に切り替え、適正に実施されている。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
119	医政局	医療情報システム普及啓発等経費	必要な事業と思いますが、平成15年度開始から一定年度が経過しています。現在の出張旅費という経費をかけての事業実施が最適かどうかを検討する時期に来ているように思われます。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
134	医政局	医療事故調査・支援センター運営費	アウトプット指標のうち「対象となる医療事故の報告件数」については、単に前年度の活動実績を見込みとするのではなく、全体件数に対する事故率の想定などをもとに客観的に算出することを検討すべきである。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。	-	年度内に改善を検討	活動指標については、どのような指標が適切であるのか、今後の検討課題とさせていただきます、引き続き適正な執行に努めてまいります。
149	医政局	独立行政法人国立病院機構における事業の運営に必要な支援	NHOが単に医療サービスの提供にとどまらず、政策医療の均てん化に係る事業を行っているその重要性は大いに認められるところです。当該事業は現状通りと判断します。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
156	医政局	国立研究開発法人国立がん研究センター施設整備費	契約方法の見直しを実施しているものの、一者入札の是正に向けて努力してほしい。(松原 由美)	事業内容の一部改善	国立研究開発法人国立がん研究センターの施設の整備のために必要な事業であるが、一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	現状通り	一者入札の是正に向けた取り組み等を通じ、引き続き適切な執行に努める。
161	健康局	感染症対策特別促進事業費	令和2年からの予算増と不用率の大きさを受けた後、令和3年に繰り越し予算をほぼ消化することになった激変経緯は、国民が本シートから理解することが困難なため、点検結果には要点を記しておく必要がある。新型コロナウイルスの感染症予防の普及が進む中、本事業をこれまで通り行う必要があるのか疑問を感じる。事業の必要性はあっても実施方法として統廃合するなどの改善が期待される。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	事業の必要性や実施方法の見直し等を検討すること。	-	年度内に改善を検討	新型コロナウイルス感染症流行に伴い感染症予防の普及が進んでいるものの、海外のようにインフルエンザ流行の可能性があることや、国内でも梅毒の感染者が増加していることから、引き続き必要な予算を確保し、適正な執行により一層努めてまいります。なお、ご指摘の点も踏まえ、どのような改善が可能か検討していきたい。
163	健康局	保健所等におけるHIV検査・相談事業	引き続き、適正に事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	個人にとっては早期発見・早期治療に繋がり、社会的には感染拡大防止に繋がる必要性が高い事業であるため、引き続き予算額を確保し、適切に執行を行う。
171	健康局	新型インフルエンザ等対策費	新型コロナウイルス感染症拡大による事業環境の変化、事業費の急増(R1 102億円→R3 3,131億円)、予備費の大規模な利用、翌年度への繰り越しが生じている事業であることから、活動実績と執行額を精査すべき事業である。事業目的・概要から、①抗インフルエンザウィルス薬備蓄、②プレパデミックワクチン備蓄、③抗原簡易キットの備蓄、④新型コロナウイルス治療薬の買い上げから構成されていると読み取れるが、各事業の備蓄購入量は横ばいのままとなっており、執行額は事業により増加または減少が顕著で、単価の増減も極端である。再度、精査点検すべきと思われる。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	活動実績と執行額について、再度、精査点検すること。	-	現状通り	活動実績と執行額について再度精査の上、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
176	健康局	感染症予防対策費	平成元年からの事業であり、昨今の新型感染症対策により、本事業の重要性・役割が大きくなると思います。その時に、これまでと同様な活動目標・成果目標が妥当であるのかどうか一度ご検討される時期に来ているように思います。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	活動目標・成果目標が妥当であるか検討すること。	-	年度内に改善を検討	引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に努めることとするが、ご指摘の点についても今後検討してまいります。
179	健康局	感染症危機管理費	アウトカム指標のうち相談件数・リーフレットの配布箇所数については、感染症の流行状況などの影響を強く受けるものであり、今後は前年度実績を基準にするのではなく、大きな特殊事情のない場合の活動予定を元に設定することを検討すべきである。引き続き一者応札の解消に取り組まれない。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	アウトカム指標の算出方法について検討するとともに、引き続き、一者応札の解消に取り組むこと。	-	年度内に改善を検討	アウトカム指標の算出方法については検討するとともに、引き続き、一者応札の解消に取り組んでまいります。
186	健康局	新型インフルエンザ予防接種事故救済給付費	極めてまれではあるが予防接種による重度の副反応があることは周知の事実であり、その救済事業も必要と考えます。ただし、この数年間の予算執行率が低いこと、当初予算の精査も必要ではないでしょうか。(増田 正志)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、当初予算の精査を行うこと。	-	現状通り	新型インフルエンザ予防接種による健康被害救済に係る各給付金の中で、遺族一時金などの額の大きな給付金を速やかに支払う必要が生じた場合に備えて、予算を計上している。以上から、引き続き必要な予算額の確保が必要と考えているが、ご指摘の点も踏まえ、引き続き予算額の精査を行ってまいります。
189	医薬・生活衛生局(生食)	検疫業務等に必要な事業	国費投入の必要性が高く優先度も高い。幅広に一般競争入札を実施するとともに、少額随意契約による場合であっても複数者から見積を徴取し、最低価格の者と契約を締結し競争性を確保している。競争性のない随意契約については、契約するにあたり、価格交渉を実施し適切である。新型コロナの影響による検疫対象者数の減少、待機施設の対応等によるコスト増加に伴い単位当たりコストは大幅に増加していることから、臨機応変に対応できるよう引き続き適切な執行を図ること。(松原 由美)	現状通り	我が国に常在しない感染症の病原体が、船舶又は航空機を介して国内に侵入することを防止するために必要な事業であるため、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況		
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容	
190	健康局	麻疹・風しん排除対策推進費	麻疹・風しんの排除は必要であるものの、本事業が啓発に限ったもので、令和2年、令和3年の活動実績が0であることから、優先度が高い事業とまでは認め難い。それでも成果指標の接種率が95%を維持できているのはなぜか。他に代替可能な活動があって成果につながっているならば、関連事業に明記し、事業統合して本事業を廃止することを提案する。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	関連する事業がある場合、関連事業に明記した上で、事業の見直しを検討すること。	-	執行等改善	本事業は麻疹の排除状態の維持、風しんの排除達成のために実施しており、今後も継続的に実施する必要がある。また、成果指標については、別事業で実施している「風しんに関する追加的対策」において、風しんに関する啓発を実施していることが影響していると考えられるが、「風しんに関する追加的対策」は令和6年度までを期限として実施していることから、本事業において継続的な啓発を行う必要がある。なお、ご指摘を踏まえて、関連する事業を関連事業に明記した。
191	健康局	エイズ予防対策事業委託費	入札の競争性確保に努めつつ、引き続き適正な業務執行を行うこと。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	引き続き入札や公募にあたっては説明会の開催や適切な公告・公示期間の確保を行うことで競争性を確保し、適切に業務を行う。
198	健康局	結核対策推進費	事業が開始されたR2年度以降、健診医療機関査察、データ解析・評価のいずれの事業とも、当初見込み数の設定に対し、実績が0の状況が続いている。他方、執行額は100%であり、事業内容が変更されて執行されていることから、変更の必要性、事業内容の有効性等について点検し、記述すべきである。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	事業内容の変更の必要性、有効性等について点検し、記載すること。	-	現状通り	本事業の対象である入国前結核スクリーニングは、新型コロナウイルス感染症の影響により実施延期となっていることから、本事業における活動目標に対する実績は0となっている。これまではスクリーニング開始に向けた準備として、健診の運用・評価のためのシステム導入、指定候補となる医療機関の調査等を行っており、いずれもスクリーニングの精度管理に必要な業務である。現在、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、関係省庁と開始時期等について調整を行っているところであり、本事業についてはスクリーニング開始後の実施状況を踏まえて次年度以降のレビューシートで必要に応じて見直しを行うこととした。
199	健康局	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援等事業	大変重要な事業であると認識しております。予算額も大きいゆえ、一度EBPMにもとづく事業の全体像を作成してはいかがでしょうか。活動・成果目標が47都道府県への支援という点から、その支援によってどのように効果があったかなどを図れるようにすることがよろしいようにも思われます。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	引き続き、地域の実情に応じて、柔軟かつ機動的に支援できるよう、必要な予算額の確保と適正な執行に努めることとする。
202	健康局	ワクチン生産体制等緊急整備基金	現下の状況で必要性のきわめて高い事業であり、着実に実行されることを期待したい。(大屋 雄裕)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	引き続き、必要に応じて予算額を確保し、適正な執行に努める。
203	健康局	ワクチン接種体制確保事業	コロナ対策費として、巨額ではあるが止むを得ない支出だと考えます。ただ、地方自治体を通じて支出された医療機関に対する各種の交付金によって、医療機関には想定外の収入となって、俗に「コロナ特需」と言われる状況になっていることを耳にしています。事後の検証が必要ではないかと考えています。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	引き続き、必要に応じて予算額を確保し、適正な執行に努める。
204	健康局	ワクチン接種円滑化標準システム開発運用事業	予算も巨額であり、今後は質を担保した随意契約を行う工夫が求められる。一度契約する企業が決めると、他社ではシステムトラブルに対応できないような作りを避ける仕組みづくり、契約体制が求められる。(松原 由美)	終了予定	当該事業はデジタル庁へ移管予定のため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了	当該事業はデジタル庁へ移管された。引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行を行う。
208	健康局	新興・再興感染症データベース事業	緊急事案に対処する重要事案と認められる。情報は、企業等が研究開発に資するためとあることから、今後はアウトカム指標に、データを活用した企業等の数やその評価を加えられるとよい。契約は、緊急時の迅速な対応が求められる事業のため、随意契約もやむなしと思われる。なお、点検結果に「順調」と改善方向性に「適正」と評されていることについては、繰越額の理由にウイルス変異株などの出現等による課題があったことから、運営上をいかに考慮し、改善策を講じているのかを明記しておく必要がある。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	アウトカム指標に、データを活用した企業等の数やその評価を追加することを検討すること。	-	年度内に改善を検討	どのようなアウトカム指標が適切であるのか、今後の検討課題とさせていただきます、引き続き適正な執行に努めてまいります。
209	健康局	新型コロナウイルス感染症治療薬実用化支援事業	R3年度執行率が74%に対しR4年度はさらなる増額予算となっている。緊急時における結果追求のもと一定の理解がされるものの事後的検証として丁寧な説明が求められる事業である。合わせてR3年度と補助先が重複する際は、次年度以降新規、追加の区別をつけ個社補助金総額の透明化を図る記載を検討すること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	次年度以降のレビューシートにおいては、ご指摘のとおり記載ふりを検討する。
210	健康局	訪日外国人健康フォローアップ等事業	事業内容が①入国者のフォローアップ業務と②デジタル庁を経由した入国者健康情報等管理業務システム開発の2つから構成されていることから、それぞれで活動指標、成果を管理・点検するのが望ましいと思われる。①については、単位当たりコストの評価に用いた入国者数やフォローアップセンターの体制等を活動指標に設定し、フォローアップ率(応答率)等を成果として管理することを検討してはどうか。②は適切な指標があるか検討頂きたい。R4年度の大規模な減額についても、点検結果を記述頂きたい。上記のように事業を分ける事で、R4年度の継続事業と終了事業が説明でき、執行状況の適切性が説明できるのではないかと。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	アウトプット指標・アウトカム指標の見直しについて検討すること。また、令和4年度の大規模な減額について、点検結果を記載すること。	-	執行等改善	ご指摘を踏まえ、アウトプット指標・アウトカム指標の見直しを行った。令和4年度の大規模な減額については、デジタル庁を経由した統合型入国者健康情報等管理システム関係(オリパラ観客等向けアプリ)が終了したことによるものである。入国者等健康フォローアップセンター業務としては必要な予算額を確保しており、適正であると考えている。
211	健康局	ワクチンの安定供給に向けた体制の整備・強化	単年度事業であることを確認しました。調達における競争性も確保されています。分析調査された結果をぜひとも今後のさらなる事業にも活用いただけると嬉しいです。(井出 健二郎)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、令和3年度をもって終了すること。	-	予定通り終了	当初の予定通りの成果を達成したため、令和3年度をもって終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
212	健康局	予防接種事務の電子化に係る実証実験事業	社会の電子化に対応した重要性の高い事業であり、令和4年度において規模を拡大した実証実験が行なわれるなど、着実な進展が得られることを期待する。引き続き一者応札の解消に取り組まれない。(大屋 雄裕)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保するとともに、一者応札の改善に努めること。	-	現状通り 引き続き、必要に応じて予算額を確保し、適正な執行に努めるとともに、一者応札の改善に取り組んでまいりたい。
213	健康局	新型インフルエンザ等対策事業費負担金	令和3年度から予算措置された事業ですが、執行はゼロでした。ただ、特別措置法によって設けられたものであり、現状維持すべきと考えます。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
214	健康局	重症者治療搬送調整等支援事業	業務の性質上、他に実施できる事業者がないことから随意契約となっている。今後も適切な執行を求める。(松原 由美)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
215	健康局	新型コロナウイルス予防接種健康被害負担金	点検結果に記されている内容の多くは事業の目的、概要に記す事項である。ここには、今回の執行率9%の妥当性判断結果とその要因との関係を記す必要がある。改善策としては、成果指標を予防接種者数に対する事故救済給付認定者数の割合%を加え、予防接種の開発をしている関連事業として記し、フィードバックの活用を図ることが期待される。(元吉 由紀子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。また、点検結果の記載について、翌年度の行政事業レビューシートにおいて見直しを図ること。	-	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。また、ご指摘を踏まえ、点検結果の記載について、翌年度の行政事業レビューシートにおいて改善してまいりたい。
230	健康局	リウマチ・アレルギー対策費	意見交換会、研修とともに、適宜オンライン活用を行うなど効率的な事業執行に基づく予算要求を行い、引き続き、適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
231	健康局	ハンセン病療養所入所者等補償金	執行額0が続いているが、対象者への適切な支給に備え、引き続き適切に予算の確保、執行状況の管理を行うこと。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。
243	健康局	小児慢性特定疾病児童等支援者養成事業	昨今の状況を鑑みますと、事業実施の困難さも理解できます。よって、執行率の状況もやむなしと思います。ただし、after・withコロナ対応を確保する中で今後は事業実施をお願いします。もし、それでも執行率が低調な場合には身の丈に合う予算規模としていただけますようお願いいたします。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	-	現状通り 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等を鑑み、引き続き、実地研修の検討及び適正な執行に努めてまいりたい。
248	健康局	慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業	アウトプット指標・アウトカム指標については単に前年度実績によって設定するのではなく、想定される需要やそれに対する割合などを用いて客観的に算出することが望まれる。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	アウトプット指標・アウトカム指標の算出方法について検討すること。	-	年度内に改善を検討 どのようなアウトプット目標及びアウトカム指標が適切であるのか、今後の検討課題とさせていただきます、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。
249	健康局	循環器病の患者に対する治療と仕事の両立支援モデル事業費	重大疾病を抱える患者の生活支援・社会復帰のためのサポート事業は必要であり、現状維持が相当と考えます。(増田 正志)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、令和3年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 事業は当初の予定通りの成果を達成したため、令和3年度をもって終了すること。今後の循環器病対策に活用してまいりたい。
250	健康局	循環器病特別対策事業	自治体によるばらつきをなくすよう、更なる支援、改善が求められる。(松原 由美)	事業内容の一部改善	自治体によるばらつきをなくすよう、改善を検討すること。	-	年度内に改善を検討 今後の検討課題とさせていただきます、引き続き、適正な執行に努める。
251	健康局	難病等制度推進事業費	国家事業としての必要性は理解できるが、重要度と緊急度を掛け合わせた優先度が高くなるほどの理由は認めにくい。調査報告書はアウトプット指標であり、アウトカム指標には、実際に活用、反映された結果(件数等)、もしくは、依頼元である委員会委員の評価結果をもって一次評価することが望ましい。今後とも、よりよい成果が得られ、対策、支援につながることを期待される。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	アウトプット指標・アウトカム指標の見直しについて検討すること。	-	年度内に改善を検討 どのようなアウトプット目標及びアウトカム指標が適切であるのか、今後の検討課題とさせていただきます、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。
252	健康局	難病の全ゲノム解析等実証事業	引き続き、R3年度の実証を踏まえ適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。
257	健康局	老人保健事業推進費等補助金(原爆分)	適切に執行されている。点検結果にある通り、被爆者の高齢化等を勘案しつつ、引き続き適切な執行に努めること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り -
260	健康局	原爆症調査研究委託費(原爆被爆者の臨床情報の保管及び活用に関する研究)	大変重要な事業であると認識しております。予算額が変化なく一定額ですが、時にはもう少し予算取りして特殊な調査を実施したり、開始年度を考慮しますと、メリハリをつけるような措置を検討してもよろしいようにも思われます。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
263	健康局	被爆体験者精神影響等調査研究委託費	アウトプット指標・アウトカム指標については単に前年度実績によって設定するのではなく、想定される対象者数やそれに対する割合などを用いて客観的に算出することが望まれる。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	アウトプット指標・アウトカム指標の算出方法について検討すること。	-	年度内に改善を検討 どのようなアウトプット目標及びアウトカム指標が適切であるのか、今後の検討課題とさせていただきます、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。
265	健康局	原爆被爆者保健福祉施設運営費等補助金	原爆被爆者に対する救済は、戦後77年が経過したが被爆者がいる以上は必要な事業と考えます。ただ、アウトカム指標での助成件数を掲げていますが、当該事業の有効性評価を測るものなのかが良く分かりません。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めるとともに、アウトカム指標が事業の有効性を評価できるものか検証すること。	-	年度内に改善を検討 当該事業の目的としては、高齢化する被爆者の保健福祉の向上を図ることであるところ、これを実現するために介護保険を利用した被爆者に対する助成件数等をアウトカム指標としていることは有効性評価を測定するものとして適当であると考えているが、よりよい指標が考えられないか検討してまいりたい。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
271	健康局	原爆死没者追悼平和祈念館運営委託費	ネットでの来館者数は指標にならないのだろうか。引き続き適正な執行を求める。(松原 由美)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めるとともに、ネットでの来館者数が指標にならないか検討すること。	-	年度内に改善を検討 今後の検討課題とさせていただきます、引き続き適正な執行に努めてまいります。
277	健康局	広島原爆体験者調査等委託費	事業目的には、再検討するに至った理由と目的を記し、何をもちて検討完了とするかの区切りを明記する必要がある。ここが設定されていないため、報告書の作成がアウトカム指標とされている。調査結果を何に反映させるのかを本来のアウトカム指標とする必要があるだろう。被爆者の高齢化を考慮すればなお本事業の早急の終了が望まれる。本来の成果物はまだできていないため、△とすべきではないか。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	事業目的を追記するとともに、アウトプット指標・アウトカム指標の見直しを検討すること。	-	年度内に改善を検討 事業の有効性については、ご指摘のとおり修正させていただきます。その他のご指摘については、今後の検討課題とさせていただきます、引き続き適正な執行に努めてまいります。
278	医薬・生活衛生局	日本薬局方調査事業	予算執行率が3年連続で超過しており要因の明確化が必要。一部競争契約において一者応札となっている点の改善に努めつつ、相応の根拠とともに予算増額についても検討を行うこと。(横田 響子)	事業内容の一部改善	医薬品の性状及び品質の適正を図るために必要な事業であるが、予算執行率が3年連続で超過している要因や一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討 仕様書の精査、公告期間の確保等、複数の事業者が入札に参加できるよう改善を検討する。
283	医薬・生活衛生局	第三者認証制度等適正推進費	執行率が低いが、新型コロナウイルス感染症の拡大による研修回数・研修形態の変更によるものであり、適切に執行されている。本事業の活動指標が認証件数となり成果指標の代替指標が研修・打ち合わせ回数となっているが、活動指標として研修・打ち合わせ回数を、成果指標として認証件数を設定するなど、より適切な指標を検討すべきではないか。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	認証機関間における認証行為の質の均霏化に必要な事業であるが、事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。	-	年度内に改善を検討 事業の効果測定を適切に行えるよう、活動指標として研修・打ち合わせ回数を、成果指標として認証件数を設定することを検討する。
291	医薬・生活衛生局	医薬品等医療安全対策事業	基本的に必要な事業であると認識しています。予算額が一定額となっておりますが、開始年度から長年経過している事業でもあり、時にはより多くの予算取りして特殊的に行うなどメリハリがあってもよいのではないかと思います。(井出 健二郎)	現状通り	医薬品・医療機器等に起因した事故事例等に関して改善策の具体化を図り、医療安全の向上を図るために必要な経費であり、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り
293	医薬・生活衛生局	安全対策推進事業費	引き続き一者応札の解消に取り組まれない。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	より充実した副作用対策を推進し、国民が安心して医薬品等を使用するための環境を整備するために必要な事業であるが、一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討 「重篤副作用疾患別対応マニュアル改訂事業」、「小児を対象とした医薬品の使用環境改善事業」については公募を行っている事業であり、事業を適切に実施するためには募集要件の緩和は難しいと考える。代わりに公告期間を昨年度より伸ばす等の対応を検討する。
295	医薬・生活衛生局	医薬品副作用被害等判定調査事業	医薬品の副作用に関する情報発信を担う事業であり、現状維持と考えます。(増田 正志)	現状通り	医薬品の副作用等による健康被害者に対する救済に必要な事業であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り
311	医薬・生活衛生局	薬局における薬剤交付支援事業	最終年度の令和4年度も、引き続き適正な執行を求める。(松原 由美)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成する見込みであるため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業に活用する。
314	医薬・生活衛生局	成育医療等分野の専門性の高い薬剤師養成のための取組支援事業	事業目的から、アウトカム指標には「専門性の高い薬剤師の数」、または、「医療的ケア児等の対応体制が整備できた都道府県数」の成果を記す必要がある。支援地域数は、アウトプット指標とすべき。事業概要、もしくは、点検結果には、10地域の実績(成果)で事業を廃止する理由を記しておく必要もある。(元吉 由紀子)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、令和3年度をもって終了すること。また、事業の効果測定を適切に行えるよう、成果指標等を適正化するとともに、10地域の実績(成果)で事業を廃止する理由を記載すること。	-	予定通り終了 ご指摘を踏まえ、アウトカム指標については「医療的ケア児等への対応にあたって医療機関との連携体制が整備できた都道府県数」を記すとともに、支援地域数をアウトプット指標としました。また、10地域でのみの実績(成果)で事業を廃止するのは、今後は事業対象となった10地域以外の地域にも類似取組の横展開を図るためであり、その旨を点検結果に記載しました。なお、本事業は終了するものの、別事業として同様の取組を継続することとしています(レビュー番号2022-厚労-21-0305「薬剤師生涯教育推進事業」)。
315	医薬・生活衛生局	薬剤師確保のための調査・検討事業	報告結果を広く周知すること。また調査結果を踏まえた現場における具体的な方策および偏在解消をはかる指標などの検討は偏在解消に向け重要であることから、引き続き適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	薬剤師の偏在解消や薬剤師確保に向けた効果的な対応のために必要な経費であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り
316	医薬・生活衛生局	エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究等事業	国が適切に実施すべき事業である。引き続き、対象者の健康状態を把握し、必要な予算額を適切に確保し、着実に執行すること。(栗原 美津枝)	現状通り	血液製剤によるHIV感染者のエイズ発症予防やエイズ患者の健康管理のために必要な事業であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り
058	医政局	医薬品安定供給支援事業	新型コロナウイルス感染症等の影響にて計画が遅延しており、巨額の予算が毎年継続されているが、定量的な目標が設定されず、さらに代替目標も非公開とするならば、一体本事業レビューシートは、誰のため、何のために公開資料とされているのかに疑問が感じられる。少なくとも採択後の進捗を点検する仕組みと判定結果を代替指標・目標として記して、繰越額の大きさと事業成果の評価結果を妥当と認める根拠としておく必要性はあるだろう。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、採択後の進捗を点検する仕組みと判定結果を代替指標・目標として記載すること。	-	年度内に改善を検討 目標設定については、個社の経営戦略に関わるため公開することはできないが、国内製造体制を整えることが最終目標であり、達成に向けて引き続き取り組んで参りたい。また、採択後の進捗を点検する仕組みと判定結果を代替指標・目標として記載することは困難であるが、他の指標や目標について検討してまいります。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況		
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容	
322	医政局	医薬品研究開発推進費	執行率が経年的に上昇しているようですが、まだ低調な感があります。自己点検にあるように、複数の調達について一者応札が散見されます。専門的な知識を必要とすることは理解していますが、ロジ業務など最低価格でおこなえる可能性も検討するなど適切な予算の執行に務めてください。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討	一者応札の改善にあたっては、それぞれの事業について、入札期間を十分に確保する他、要件を示す仕様書の記載を見直すなど入札における改善を図る。
328	医政局	保険適用申請相談事業	令和2年度以降に保険適用相談会の実施回数が落ち込んでいるのはCOVID-19下でやむを得ないものと考えられる。オンラインによる相談実施なども進めているとのことなので、それらを反映した成果指標に改めることを検討されたい。アウトカム指標である「事前相談件数」については、単に前年度の数値を目標とするのではなく、必要と想定される情報提供や事前の予算措置の規模などから客観的に設定することが望ましい。執行率の低い状況が続いていることから、予算請求の規模について再検討することが望ましい。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。	-	現状通り	執行率の低さは会場費用が安価に抑えられたことにも起因するとともに、医薬品・医療機器の事前相談は、希望する企業からの申し込みに基づき厚生労働省職員が無料で行っているものであるため、厚生労働省側で予算額に基づく客観的な新たな成果指標を設定することは容易ではないが、今後は地方相談事業について地方自治体等との連携を強化し、同額予算でより事業効果を上げられるよう改善してまいりたい。
333	保険局	医療保険給付費国庫負担金等	国民皆保険制度を維持していただくための必要な事業であり、現状維持と判断します。(増田 正志)	現状通り	給付に支障のないよう、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	今後も適切な事業執行に努めることとする。
334	保険局	高齢者医療制度円滑運営事業費補助金	少額の事業についてはその内訳が記されているのに比べ、国保中央会や支払基金への支払いが巨額であり、かつその内訳がほとんど記されていない。(松原 由美)	現状通り	引き続き、見積の精査等を行い予算削減に努めること。	-	現状通り	今後も適切な予算削減に努めることとする。
337	保険局	高齢者医療運営円滑化等補助金	事業概要は、多岐にわたるため、項目ごとのわかりやすい説明を別添して記しておくこととよい。重要な事業であるため、引き続き適正に執行いただくとともに、今後の課題については、改善方向性に記されたとおり適時妥当な見直しを図られることを期待する。なお、関連事業には類似事業に限らず、本事業が安定化を図る基盤となる高齢者医療制度にかかる関連事業として付記しておくことが望まれる。(元吉 由紀子)	現状通り	引き続き、適切な予算執行に努めるとともに、高齢者支援金等負担金助成事業については、特定保健指導の実施率向上に努めること。	-	現状通り	今後も適切な事業執行に努めることとする。
339	保険局	国民健康保険団体連合会等補助金	引き続き、適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	コストを適切に見直したうえで、「新たな成長推進枠」としてのシステム改修経費を計上している。
355	保険局	医療経済実態等調査費	適切に実施されている。2年毎に調査される事業もあり、調査年度に該当しない年(R2年度)の低い執行率に鑑み、R4年度は予算額を減額しており適切である。医療機関等調査について、毎回回答率が低い点、1者応札となっている点は、改善を検討すべきである。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	引き続き、必要な予算額を確保し、回答率が低い点、1者応札となっている点は、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討	引き続き、必要な予算額を確保し、回答率が低い点、1者応札となっている点は、改善を図る。
367	保険局	国民健康保険組合事務費負担金	事務的に必要な事業であると理解しました。長年の事業ですので、ICT化あるいはDXが進む中で一層の効率化をお願いします。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	今後も必要な予算額を確保し、効率化を図りながら適正な執行に努める。
369	保険局	レセプト電算処理システムの推進に必要な経費	アウトプット指標である「レセプト情報等収集件数」、アウトカム指標である「第三者提供の承諾件数」の双方について、単に前年度実績を目標とするのではなく、対前年度の増減率等によって、実態に即した適切な目標設定を行なうことが望ましい。随意契約については、内容的にやむを得ないものを除き解消のための努力を継続されたい。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	アウトプット指標について、実態に即した適切な目標設定となるよう検討すること。また、随意契約解消のため見直しを図ること。	-	執行等改善	アウトプット指標については、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づくレセプト情報・特定健診等情報を収集する業務に適するよう、引き続き精査してまいりたい。また、随意契約については、内容的にやむを得ないものを除き、解消に努める。
377	保険局	特定健診・保健指導における医療費適正化効果検証事業	事業目的が達成されてはいるが、過年度の予算執行率が低く、予算額の見直しが必要と考えます。なお、当該事業そのものは現状維持と判断します。(増田 正志)	事業内容の一部改善	執行率が低調である。要求内容を見直し、適切な予算額を確保すること。	-	現状通り	過年度の執行率については、入札により契約額が抑えられた結果である。ご指摘を踏まえ、次年度以降、要求内容を検討し、引き続き、適正な執行に努めていく。
378	保険局	医療介護総合確保促進会議に要する事業	効率的に会議を開催した点を評価する。一方で、前年度実績を踏まえた予算見直しや、効率だけではなく効果をあげるための方策の検討を求める。(松原 由美)	事業内容の一部改善	執行率が低調である。要求内容を見直し、適切な予算額を確保すること。	-	年度内に改善を検討	執行率が低調な原因として会議開催にかかる費用を効率的に執行した結果である。次年度以降、予算額の見直しやより効果的な会議開催ができないか検討し、引き続き、適正な執行に努めていく。
379	保険局	地域における医療・介護の連携強化の調査研究事業	平成27年度開始後すでに7年が経過しているが、未だアウトカム指標なく、報告書の本数1本となっているのは不十分である。本来の調査結果である利活用状況や実装につながる指標を設定する必要がある。なお、事業の継続必要性は認められるが、緊急度を加味した優先度をとらえる記述は見当たらない。改善方向性としては、地域の実情に応じたより一層の質の向上を図っていくことが期待される。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	アウトカム指標について、実態に即した適切な目標設定となるよう検討すること。引き続き、必要な予算額を見直しつつ、地域の実情に応じたより一層の質の向上を図っていくこと。	-	年度内に改善を検討	アウトカム指標については、調査結果の利活用状況の把握は困難であるが、他に適切な指標がないか検討してまいりたい。
388	保険局	大規模実証事業に必要な経費	R4年終了事業。実証から得られた報告を有効に活用し、公開に資する内容については広く共有を行うこと。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	引き続き、必要な予算額を見直しつつ、適正な執行に努めることとする。
390	保険局	40歳未満の事業主健診情報の活用に向けたシステム構築の支援	R3年度からの事業だが、適切に執行されている。システム改修がR4年度に繰り越されており、引き続き競争環境を維持しつつ、適切にシステム改修を実施すること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	引き続き、必要な予算額を見直しつつ、適正な執行に努めることとする。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
396	健康局	地域・職域連携推進事業費	必要な事業であると認識しております。一度EBPMにもとづく事業の全体像を作成してはいかがでしょうか。活動・成果目標が自治体数、協議会設置数という指標ですが、それによってどのような効果や政策的な達成がありうるかなどを図れるようにすることがよろしいようにも思われます。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
400	健康局	地域保健活動普及等委託費	令和2年度において活動・成果実績が大きく落ち込んでいることはCOVID-19の影響としてやむを得ないが、指標を前年度実績に基づいて設定しているために数字が大きく変動しており、事業の現状を評価するものとしての信頼性を失わせている。研修を受けて一定の能力を身に付けた人材がどのような規模で必要なか、それを実現するために必要な活動はどのような規模かといった観点から客観的に指標設定を行なうことが望ましい。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	アウトプット指標・アウトカム指標の算出方法について検討すること。	-	年度内に改善を検討 今後の検討課題とさせていただき、引き続き、適正な執行に努める。
402	健康局	保健衛生施設等施設・設備整備費補助金(保健衛生施設等災害復旧費補助金含む)	数年度予算の翌年繰越が続いていますが、コロナ感染症が沈静化していない現状で、当該事業の必要性が再認識されると考えられます。令和4年度の予算執行状況を検証して、予算額の再検討をすべきであると考えます。よって、当年度は現状維持と判断します。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
404	健康局	健康増進事業(健康相談等)	コロナの影響を受けて参加者の達成度が低いのは理解できる。一方で、執行額が予算額を上回った理由の説明がない。更なる経費分析と効率的な執行を求める。(松原 由美)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、効率的な執行に努めること。	-	現状通り 想定を超える申請があり、執行額が予算額を上回った。経費の分析を行い必要な予算額を確保し、効率的な執行に努める。
415	健康局	健診結果等の利活用に向けた情報標準化整備事業	前年度の繰り越し対応となったものの、無事業終了されたこと認められる。ただし、改善の方向性に、システムはそれが実際に有効活用されるかが重要となるために、国として何が出来るか、例えば、市町村における活用状況を把握し、より有効な活用がされるよう適宜支援を行うなどの記載があるとなおよい。また、今後デジタル庁などとの連携はないか。(元吉 由紀子)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、令和3年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 令和3年度をもって事業を終了するが、今後のシステムの在り方についてはデジタル庁との連携も含めて検討してまいりたい。
416	健康局	がん診療連携拠点病院機能強化事業等	引き続き、適切な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。
420	健康局	小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業	R3年度開始事業で初年度の執行率が低いことから、情報の周知をさらに図ると共に、補助申請の実績推移を見つつ適正な予算規模に見直すこと。(栗原 美津枝)	現状通り	今後の補助申請の実績推移を見つつ、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 令和3年度より開始された事業であることから、今後の補助申請の実績推移を見つつ、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。
421	健康局	地域健康危機管理対策事業	自己点検にて執行率の低調さは言及されており、改善をお願いします。また、必要な事業であると認識しておりますので、一度EBPMにもとづく事業の全体像を作成してはいかがでしょうか。活動・成果目標が自治体数・会議開催数という指標を受けて、それがどのように効果があったか、何が実現されるのかなどを図れるようにすることがよろしいようにも思われます。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	執行率が低調なため、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討 今後の検討課題とさせていただき、引き続き、適正な執行に努める。
428	医薬・生活衛生局(生食)	農業等ポジティブリスト制度推進事業	引き続き一者応札の解消に取り組まれない。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	食品中の残留農薬等の規制による食品の安全性の確保に必要な事業であるが、一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	執行等改善 過去の執行率等を踏まえて予算の縮減をするとともに、履行期間や公告期間を出来るだけ多く確保できるよう計画的に調達作業を進め、登録検査機関への声掛けを積極的に行い、一者応札の解消に取り組みたい。
429	医薬・生活衛生局(生食)	食品添加物等の安全性確認の計画的推進事業	食の安全性を確保するために必要な事業と考えます。定量評価が難しい点も理解できます。現状維持と判断します。(増田 正志)	現状通り	食品添加物の規制による食品の安全性の確保に必要な事業であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き食品添加物の規格基準を整備して食品の安全性を確保するために必要な予算を確保し、適正な執行に努める。
444	医薬・生活衛生局(生食)	官民連携等基盤強化支援事業	アメリカのフロントでは水道事業の効率化導入の結果、鉛が混入し、いまだに深刻な被害が続いている。水は社会的共通資本の代表であり、効率化とともに質の確保を重視し、引き続き適正な執行を求める。(松原 由美)	現状通り	官民連携方策の導入による水道事業の基盤強化のために必要な事業であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、必要な予算額の確保と適正な執行に努める。
445	医薬・生活衛生局(生食)	水道インフラシステム輸出拡大推進事業	活動目標が、セミナー開催と調査実施だけでは、成果目標につながる指標として不十分である。点検結果と改善方向性に記された実施方法に関する効果測定、または、支援先対象国数、成果目標に対象国における衛生的な人口確保割合を付記しておくほうがよい。なお、本事業の目的に、「官民の連携を強化し」、「日本企業の展開を支援する」とあることから、「連携団体・企業数」などこれに関する活動指標、成果指標を付記する必要がある。優先度が高い事業でありながら、国民がその結果の適否を確認・判断しにくい事業のため、少なくとも実施プロセスに関する情報の開示には工夫が必要である。(元吉 由紀子)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、令和3年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 外部有識者の所見を踏まえ、次年度のシートにおいて、活動目標に管理・計測可能な「案件発掘調査件数」等を追加し、成果目標にも「セミナーへの参加団体数」を追加する等の修正を行うこととした。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
451	医薬・生活衛生局	危険ドラッグ対策費	単位当たりコストが増加傾向にある。要因分析を行い適正な予算要求を行いつつ、引き続き適切な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	危険ドラッグの撲滅のために必要な事業であるが、単位あたりコストの妥当性を分析の上、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	年度内に改善を検討 麻薬・向精神薬として規制を検討するために実験を行う物質は、国際条約により規制が見込まれている物質が中心となっていることから、毎年度条約において規制が見込まれる物質数の変動が、単位当たりコストに変動を与えている要因の1つとなっている。国際条約で規制されて見込みの物質や我が国のみで流通する物質について、速やか規制を検討することは、保健衛生上の危害を防止する観点からは必要であると考えられるものの、あらかじめ物質数を予測することは困難であり、要求額を縮減することは困難であると考えている。一方、単位当たりコストの抑制や適切な予算執行の観点から、引き続き価格交渉などを行って参りたい。
461	医薬・生活衛生局(生食)	生活衛生等関係費	執行率が低く、また補正予算の翌年度繰り越しがR1年度より3期連続して発生していることから、実績等を踏まえて適切な予算額に見直すこと。多数の事業を実施していることから、引き続き、事業毎に適切な指標を設定し実績を点検すること。(栗原 美津枝)	現状通り	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定するとともに、より適切な活動指標を設定すること。	-	現状通り 過去の執行率や予算の繰越状況等を踏まえ、引き続き適切な予算額となるよう検討する。また、ご指摘を踏まえ、生活衛生関係営業対策調査委託費に関する新たな成果指標を設定する。
465	労働基準局	最低賃金引上げに向けた中小企業・小規模事業者支援事業	大変重要な事業であると認識しております。予算の不用については言及いただいているところですが、予算額も大きいゆえ、一度EBPMにもとづく事業の全体像を作成してはいかがでしょうか。活動目標が支給件数でありそれがどのように目標達成に寄与しているかの相関がわかりません。また、成果目標値は未達が続いています。よって、そうした活動・成果目標いかんどのように効果があったか、最終的な目標との関係性などを図れるようにすることがよろしいようにも思われます。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	成果実績が成果目標を下回った要因を分析し、事業内容の改善を図ること。	-	執行等改善 令和4年度においては、当該事業に関するEBPM調査を作成し、事業全体像の整理を行う予定である。当該EBPMに基づき適切な成果目標の設定などを行いつつ、併せて成果実績が成果目標を下回った要因を分析し、執行内容の改善に努めてまいります。
466	労働基準局	安全衛生啓発指導等事業	引き続き一者応札の解消に取り組まれない。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因及び活動実績が当初見込みを下回った要因を分析し、事業内容の改善を図ること。	▲206	縮減 一者応札にかかる改善策として、検討及び準備期間が十分確保できるよう公示期間を可能な限り長くするとともに、本委託が可能と考えられる事業者に声かけを行う予定。「要望のあった業種の災害事例等の作成」の、活動実績が当初見込みを下回った要因は、新型コロナウイルス感染症に関する対応などが生じたことにより、労働災害事例のとりまとめに時間を要したことによるもの。労働災害の増加も考慮し、とりまとめを迅速に行うこととしたい。また、事業内容見直し等により、要求額を縮減した。
468	労働基準局	職業病予防対策の推進	新たな産業や製品の登場によって、当初想定されていなかった労働災害が生じてきたことは過去の歴史から明らかになっています。IT機器や放射線の研究による新たな災害が登場する昨今、本事業は必要なものであり、現状維持を認めます。(増田 正志)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因及び活動実績が当初見込みを下回った要因を分析し、事業内容の改善を図ること。	▲25	縮減 一者応札解消に向け、入札説明書受領者にヒアリングを行い、仕様書における業務内容の疑義事項を明確にすることで、応札者の疑義を解消し、一者応札解消に努める。なお、執行実績を考慮し、要求額の縮減を行った。
472	労働基準局	粉じん障害防止総合対策費	引き続き適正な執行を求める。(松原 由美)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額の縮減を検討すること。活動実績が当初見込みを下回った要因を分析し、事業内容の改善を図ること。	▲0	縮減 昨年度に引き続き活動実績が見込みを下回った要因は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から活動を自粛したことが影響していると考えられるが、コロナ禍2年度目であり、目標は下回ったものの実績は前年度よりも増加している。令和5年度は、活動自粛後の集団指導を考慮し要求額は現状維持としている一方で、周知啓発事業の要求額を実績を踏まえて縮減している。
483	労働基準局	職場におけるメンタルヘルス対策事業	事業創設後20年になる事業がいつまでも国で行い続けるやり方に留まっているのではないかと。対策が有効との回答を得ている満足度の高いサイトや相談ノウハウを自治体や国民に提供し、自主運営できるやり方に抜本的に内容を見直し、国はその運営を支援する役割、近年であればテレワークによる新たなメンタル要因などより高度な問題の対策研究などに転換すべき。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図りつつ、引き続き、効率的な運用に努めること。	-	年度内に改善を検討 過労死等の防止のための対策に関する大綱等に基づき引き続き国が事業を実施する必要があるが、テレワークによる新たなメンタル要因等の高度な問題への対応についても実施することを検討する。また、一者応札の解消に向けて、公告期間の延長、関連事業者へのさらなる声かけ等の検討を行う。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況		
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容	
485	労働基準局	過労死等防止対策推進等経費	シンポジウム参加者がR元年に比べ低下しているものの一定規模を確保できており注目度の高さがうかがえる。引き続き、啓発に努めアウトカムとして因果関係を結びつけることは難しいと思われるが、長時間労働の縮減や労基署による関連指導数など、過労死の要因となる数値の動向を把握できる指標を追加検討すること。また改善の方向に記載がある通り、一者応札解消に向け調達方法の工夫に努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図りつつ、引き続き、効率的な運用に努めること。	-	年度内に改善を検討	労働時間の指標や労基署による指導数等は、過労死等防止対策の推進の結果が直接反映されるものではなく、感染症等の社会問題や経済状況等の他の要因の影響を大きく受けるものであるため、ご指摘のとおり、本事業のアウトカム指標として設定することは難しいが、これらの指標等の動向も参考にしながら、引き続き適切に事業を実施してまいりたい。 なお、一者応札の解消に向けては、上記のとおり、仕様書を配布した事業者に対し入札へ不参加となった理由についてヒアリングを行い、その内容をふまえて調達内容等について検討を行う。
486	労働基準局	治療と職業生活の両立支援事業	執行率は高く、一般競争入札も実施されており、適切に執行されている。1者応札となった事業は、原因を分析し適切に点検されている。両立支援の推進のための事業者、医療機関、支援者への周知を目的としていることから、成果目標は周知状況を表す指標(研修等への参加者数等)や、事業者、医療機関、支援者の支援の実施状況を示す指標等のより適切な数値を設定するよう今後検討すること。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	成果目標は、両立支援に係る周知状況を表す指標等の設定を検討すること。	-	年度内に改善を検討	成果目標では周知による成果指標として、シンポジウム・セミナー参加者から回答にかかる項目を追加する。 なお、一者応札の解消に向けて、公告期間の延長、関連事業者へのさらなる声かけ等の検討を引き続き行う。
490	労働基準局	林業従事労働者等における安全衛生対策の推進	一見目立たない事業ですが、必要性を認識しています。ただ、平成元年開始ということで、一度立ち止まり、より発展的な事業展開を検討してもよい時期ではないでしょうか。一者応札については今後とも改善方法をご検討ください。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、事業内容の改善を図ること。	-	年度内に改善を検討	ご指摘のとおり、平成元年からチェンソー取扱作業指導員を必要な労働局に配置しているが、検討会の結果を踏まえ指導員の職務を見直すなど必要な見直しを行っており、本年度については現在事業の実施の要否も含め事業内容を検討中である。 一者応札にかかる改善策として、検討及び準備期間が十分確保できるよう公示期間を可能な限り長くするとともに、本委託が可能と考えられる事業者に声かけを行う予定である。特に、機械集材装置等の索に繊維ロープを使用する場合の安全基準等の検討事業については、内容が専門的な分野であり、また、事業期間が約4ヶ月(11月から3月まで)と短かったため、応札可能な業者が一定程度の知見等を有する者に限られてしまったことが一者応札の原因の一つとして考えられるため、一者応札の解消のためには、準備期間を見据えた事業期間を設定することや、事業の公示期間を延長するなどの対策を検討中である。
492	労働基準局	機械等に起因する災害防止対策費	一つの事業の内部に大きく性格を異にする内容が含まれていることから、それぞれに対応したアウトプット指標・アウトカム指標を個別に設定し、全体的な状況に関する評価を可能にすることが望まれる。 引き続き一者応札の解消に取り組まれない。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、事業内容の改善を図ること。	▲23	縮減	アウトプット指標・アウトカム指標の個別設定に関しては、適切な指標設定を含め、次回以降検討したい。 一者応札となってしまった要因は専門的な技術を要するため、参加できる事業者が少ないなどが考えられるが、引き続き公示期間や履行期間の確保、公示後の早期かつ幅広い声掛けを行うなどにより一者応札解消を行う。また、令和5年度要求額については、実績見合い等により縮減した。
518	人材開発統括官	障害者職業能力開発校設備等	障害者の職業能力開発は社会的にも大いに評価すべき事業と考えます。当事業は施設整備と設備・機器の拡充と維持に係るもので、現状維持と判断します。(増田 正志)	事業内容の一部改善	一者応札となった要因を分析し、適正な執行に努めること。	-	執行等改善	一部の契約においては一者応札となったが、大部分は一般競争入札で複数応札となっており、今後も複数者の応札があるよう、適切なスケジュール管理や必要な予算額の確保に取り組む。
520	労働基準局	炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に関する特別措置法に基づく介護料支給費	今後も適正な執行を求める。(松原 由美)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
521	労働基準局	特別支給金	定常的業務のため、アウトカム指標が給付額だけでは改善足りない。被災労働者とその遺族の不便を軽減できるよう、被災から申請までの日数や申請から支給までの日数を付加するなどして、手続きの簡略化や迅速化を図るなどして利便性の向上に努めることが期待される。(元吉 由紀子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	本事業は労災保険給付と一体となって実施されるものであるところ、労災保険及び特別支給金の給付業務をより円滑に行うための経費については、510「労災保険給付業務に必要な経費」のシートで分析しているため、手続きの迅速化等の利便性の向上は本事業ではなく、510「労災保険給付業務に必要な経費」の事業において取り組んでいきたいと考えているが、いただいたご意見をふまえ、各労働局の事務処理の効率化を検討する等改善を図ってまいりたい。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
532	労働基準局	独立行政法人労働者健康安全機構施設整備に必要な経費	入札における競争環境はおおむね担保できているものの一部一者応札となっている。改善事項にご記載いただいている通り入札環境の改善に取組み、引き続き適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	▲492	縮減 一者応札となった要因として、ネットワーク機器等の調達において仕様書の要件を満たせる業者が少数であることが考えられる。一者応札・応募となった案件については、①公告期間の延長(20営業日以上)、②資格要件(過度な要件となっていないか等)の見直し、③仕様書(業務内容が具体的に記載されているか等)の見直し、④合理的な統合・分割の実施、⑤入札から履行までの十分な期間の確保を各施設に周知し、次回以降の入札に向けた改善に取り組む。なお、施設整備内容の見直し等により令和5年度要求額は縮減している。
535	労働基準局	労働保険適用徴収業務に必要な経費	一者応札かつ落札率が高い事業が複数あることから、実質的な競争環境が確保されているか、落札額が高止まりしていないかを確認し、競争環境の改善に努めること。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	活動実績が当初見込みを下回った要因を分析し、事業内容の改善を図ること。一者応札となっている要因を分析し、競争性の改善を図ること。	-	年度内に改善を検討 一者応札や落札率が高い事業については、公示期間や仕様の内容等の精査、類似事業の応札者への声掛け、入札説明会での丁寧な説明等を行うことにより複数応札となるよう努める。また、令和3年度の活動実績が低調となったのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、臨個訪問等を縮小したことによるものであることから、今後適正な業務遂行により目標を達成できるよう努める。
538	雇用環境・均等局	助成金支給等に係る経費	本事業の過去の経緯から本シートの有効性のご指摘を部局からいただきました。納得できるご指摘ですので、事業実態がシートに反映されるように、部局からシート自体をレビュー・ブラッシュアップするご提案を今後いただければ幸いです。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	活動実績が当初見込みを下回った要因を分析し、事業内容の改善を図ること。	▲198	縮減 制度のニーズ等を勘案した見込み件数を設定した上で、予算額を縮減することとする。また、シート内容については、ご意見を踏まえ、検討してまいります。
541	雇用環境・均等局	安心して働き続けられる職場環境整備推進事業	執行率がやや低調に推移していることから、予算積算については検討が必要である。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額の縮減を検討すること。	-	現状通り 執行率が38%となっている要因は、広報物作成にあたって一般競争入札により執行額が予算額を下回ったことによる。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、集団指導説明会等をオンラインで実施したこと等も影響していると考えられる。令和7年までに男性の育児休業取得率30%の目標を掲げているところ、男性の育児休業取得促進等のためには、法律に基づく制度の普及・定着をより一層進める必要があるため、必要額を計上して要求するとともに、積算については過大な要求額とならないように留意してまいります。
543	雇用環境・均等局	男性の育児休業取得促進事業	少子化対策として必要な制度と考えます。女性活躍が声高に叫ばれてはいますが、育児が理由となって退職する例をよく耳にします。日本の社会に定着した「女性は家にいて育児を。男性は外に出て働く。」との考えを根底から意識改革を進めなければならないと考えます。当事業は広告会社2社に発注されていますが、その広告の効果をどのように計るのかが予算執行上の大きな課題と思われま。男性の育児休暇の取得率目標13%が定量目標となっていますが、「イクメン」という標語の定着率、社会の常識化が如何に進んだかを図る必要もあるのでないでしょうか。アウトカム指標も検討を求めることとして、本事業は維持すべきと判断します。(増田 正志)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額の縮減について検討すること。	-	執行等改善 低執行となった主な要因は、入札差額によるもの。令和7年度の目標数値を達成に向け、改正育児・介護休業法に対応した育児休業に関する情報開示の促進等の必要経費を計上することから縮減は困難であり微増を予定しているが、既存経費については効率化を図り縮減した上で予算要求を行った。ご指摘のアウトカム指標については順次検討してまいります。
556	雇用環境・均等局	両立支援等助成金(不妊治療両立支援コース)	執行率が低いため、予算の見直しを検討されたい。(松原 由美)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額の縮減を検討すること。	▲354	縮減 両立支援等助成金(不妊治療両立支援コース)については、執行実績を踏まえて予算額を縮減している。なお、今後不妊治療を受ける労働者の増加が想定されるが、一定の申請増加に対応可能な予算要求額としている。
557	雇用環境・均等局	非正規雇用の労働者のキャリアアップ事業の実施	非正規(有期雇用)労働者の正社員化は、格差社会の要因だけでなく、未婚化、出生率の低下、ひいては、少子高齢化、人口減少の要因につながる重要課題である。それだけに創設から10年経つ節目としては、個々の事業レベルを超え、検証範囲を広げて根本的な解決策となるよう施策レベルで総合的に見直す必要がある。そうすれば関連事業には、類似事業だけでなく、より効果を発揮するために連携を図る事業が記入されるはずである。改善の方向性には、今後当該事業の周知、運営において、都道府県から事業者、労働者まで一貫した利用促進効果と効率化を図るデジタル化を進める改善が期待される。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、予算額の縮減を検討すること	▲64	縮減 執行率を踏まえ、処遇改善支援の一部コースについての縮減など適正な予算を要求する。また、ご指摘を踏まえ、非正規雇用労働者支援施策という全体的な観点から事業の有効性の検証を行うとともに、引き続き、非正規雇用労働者の正社員化、処遇改善のための支援策として周知啓発を行い、更なる活用促進を図っていく。
560	雇用環境・均等局	パートタイム・有期雇用労働者等の活躍推進に関する総合的情報提供事業	ポータルサイトアクセス数が目標値を超えているとはいえ低下傾向にある。要因分析を行い必要であれば対策を練ること。また、R4年度に入札における一者応札解消ができていたため引き続き適正な入札環境を整え適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	引き続き適正な入札環境を整え適正な事業執行に努めるとともに、成果実績が成果目標を下回った要因を分析し、事業内容の改善を図ること。	-	年度内に改善を検討 令和4年度においても公示期間を広くする、または類似事業の委託業者に対して周知をするなど、より多くの事業者に入札してもらえるような工夫を引き続き行う。チェックツール活用事業所数の減少については、ニーズ調査結果をふまえて効果的なサイト改修を実施、サイトの周知活動も併せて行い、回復を図る。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
562	雇用環境・均等局	パートタイム・有期雇用労働者均衡待遇推進事業	指導員の支援事業所数が見込みを下回っている状態が継続していることから、要因分析を踏まえ、今後の指導対象の事業所のあり方および対象所数、指導者の数および配置のあり方が適切か点検すること。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	活動実績が当初見込みを下回った要因を分析し、事業内容の改善を図ること。	▲14	縮減 ・雇用均等指導員の支援事業所数については、令和元年度については改正法の説明会などの施行業務が優先されたことによる件数の減少(既に対応は終了)、令和2年度以降は新型コロナウイルスにかかる緊急事態宣言等の感染防止対策による減少であるが、令和4年度以降は緊急事態宣言等の感染防止対策の実施状況も前年度以前とは異なっており改善も見込まれるため、目標件数については変わらず7,000件とした。 ・なお、指導員の人件費単価の変動があったほか、社会保険適用拡大により社会保険料は他の事項で要求することとなったため、要求額自体は14百万円ほど減額している。
571	労働基準局	雇用労働相談センター事業	重要な事業と認識しています。よって、一度EBPMのフレームに合わせて事業全体を俯瞰してはいるかがでしょうか。また、一者応札が散見され、改善も模索されていますので、その解消に向け、今後ともおつとめください。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因及び活動実績が当初見込みを下回った要因を分析し、事業内容の改善を図ること。	-	年度内に改善を検討 (一者応札について) 一者応札にかかる改善策として、検討及び準備期間が十分確保できるよう公示期間を可能な限り長くするとともに、自治体と連携し候補者の掘り起こしを引き続き行う。 (活動実績について) 活動実績が当初見込みを下回った要因はベンチャー企業及びグローバル企業が新型コロナウイルスによる緊急事態宣言等の影響を依然強く受けたことで、特区内への進出に消極的な状況が見られたこと及びこれらの企業への周知活動が一部のセンターで制約を受けたこと。 改善策としては、コロナの影響を受けつつもオンラインによるセミナーを工夫して実施したり、自治体との連携により周知活動を強化する等の対策によることで目標を達成しているセンターもあることを踏まえ、このような好事例・対策をよりスピーディに収集・分析し他センターに展開・実施できるようにする。また、特区的関係自治体及び内閣府との定期的な意見交換等による連携強化を図ることをもって、センターの更なる周知をしつつ効果的な方法でのセミナーを実施する。
572	職業安定局	マザーズハローワーク事業推進費	社会的に重要な事業であり、引き続き着実に実施することが期待される。COVID-19の影響もあり対面での相談・情報提供などの機会が限定されてきていることから、オンライン相談などICTの活用を長期的には検討してもらいたい。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	活動実績改善のため、オンラインマザーズハローワークの利用推進など支援対象者のニーズを踏まえた取組を行うこと。	-	執行等改善 子育て中の女性等が自宅でも求職活動ができるよう、全国のマザーズハローワークにおいて、各種就職支援サービスをオンラインで提供する「オンラインマザーズハローワーク」を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響下においても相談等の機会を設けるほか、対象の求職者に情報が行き渡るよう、オンライン職業相談やセミナー情報についてわかりやすい情報発信を行うなど、本事業の利用動向や活動実績の向上に努める。
578	職業安定局	ハローワークシステム運営費	ハローワークの職業紹介業務及び雇用保険業務等を実施するためのソフト及びハードに亘るシステム開発・維持管理に要する費用と認め、当該事業が必須のものであるとして、現状維持と考えます。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き精査の上必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
585	職業安定局	求人・求職情報の提供に関する体制の整備	周知徹底を図りながら、引き続き適正な執行に努めること。(松原 由美)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 周知徹底を図りながら、引き続き適正な執行に努める。
590	職業安定局	不安定就労者再チャレンジ支援事業	不安定就労者の安定就職につなげる取組は、格差社会の要因だけでなく、未婚化、出生率の低下、ひいては、少子高齢化、人口減少の要因につながる重要課題である。それだけに執行率、アウトプット、アウトカムすべての実績が10%台を続ける本事業がその根本解決にどこまで有効か、抜本的に見直す必要がある。事業番号557など対象や事業概要は異なっても、問題の発生要因から見て関連する事業を記載して、連携を図る必要があるのではないか。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	活動実績及び成果実績が低調に推移している要因を分析し、予算の額の縮減を含め執行率の改善を図ること。	▲1,524	縮減 事業実績等を勘案し、新たに支援対象者の受け入れは行わないこととし、令和5年度要求においては令和3年度及び令和4年度の支援対象者分の後年度負担のみ行うこととする。
595	職業安定局	地域雇用開発助成金(沖縄若年者雇用促進コース)	ポストコロナに向けた雇用環境改善を見据え適正な予算計上を行い、引き続き適切な事業執行に努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	活動実績を踏まえ、適切な予算額になるよう見直すこと。	▲3	縮減 引き続き適正な執行に努めるとともに、要求額については執行状況等を踏まえた縮減を図った。
599	職業安定局	季節労働者通年雇用促進等事業費	執行率は高く、通年雇用者数も出ている事から季節労働者の通年雇用化に一定程度寄与していると思われるが、事業の有効性についてはより適切な指標等を用いて検証しながら実施すべきと思われる。具体的には、通年雇用促進支援事業の利用者が見込みを常に下回っていること、利用者数に対し通年雇用者数が10%程度にとどまっていること、就職支援ナビゲーターによる常用就職率も目標は達成しているものの4割程度にとどまっていることから、より有効な事業に見直す余地がないか検討すること。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	概ね目標を達成しているものの、より有効な事業に見直す余地がないか検討すること。	▲7	縮減 適切かつ効果的な事業になるよう見直しを検討するとともに、要求額については、直近の季節労働者数を踏まえること等により縮減した。
609	職業安定局	建設事業主等に対する助成金(旧建設労働者確保育成助成金)	必要な事業と思います。なお、予算額が大きいことから、一度EBPMのフレームに合わせて事業全体を俯瞰してみるなど可視化されることでさらなる課題も発見できるように思います。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り EBPMのフレームに合わせて事業全体を俯瞰するなどの手法を検討してまいりたい。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
614	職業安定局	人材開発支援助成金（障害者職業能力開発助成コース）	公益性の高い事業であり、引き続き着実に実施することが期待される。（大屋 雄裕）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
617	職業安定局	人材確保等支援助成金（外国人労働者就業環境整備助成コース）	若年労働者不足から、外国人の雇用は必須と考えられますが、昨今報道されているように多くの問題が発生しています。当事業が対処すべき外国人労働者の職場定着に要する施策に期待するところです。令和3年度から予算措置された事業であり、今後の展開を注視することを前提に、現状維持と判断します。（増田 正志）	現状通り	計画の策定から支給まで時間を要するスキームであるので、引き続き適正な執行に努めつつ、今後、事業効果について分析すること。	▲1	縮減 令和3年度の執行状況を踏まえて、令和5年度要求額を縮減している。
618	職業安定局	新型コロナウイルス感染症対応休業支援金	執行状況等を踏まえて適正な予算の検討と執行を求める。（松原 由美）	現状通り	新型コロナウイルス感染症の状況や執行状況等を踏まえ予算編成過程で要求額を検討していくこと。	-	現状通り 新型コロナウイルス感染症の状況や執行状況等を踏まえ予算編成過程で要求額を検討していく。
619	職業安定局	産業雇用安定助成金	予算に対する執行率があまりに低い。その要因はどこにあるのか。（当初提供された事業レビューシートは「精査中」のコメントが多く点検結果と改善方向性が把握できなかったことから、）今後詳細な要因分析をして、改善方向性には、本事業の問題の真因となっている雇用を継続し得ない状況を探知し、事業主及び被雇用者の両者について、雇用の継続、または、再雇用に確実につながる策に改善する検討が必要がある。（元吉 由紀子）	事業内容の一部改善	ポストコロナにおいて労働移動は重要であるため、支給対象者の精査等をするともに、新たなコースの創設などポストコロナを念頭に置いた内容を検討すること。	-	年度内に改善を検討 雇用維持コース（仮称）の令和5年度要求額については、予算編成過程で検討 令和5年度においては、従来の在籍型出向への助成を雇用維持コース（仮称）とした上で、新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、イノベーションの強化や新しい事業分野への進出など事業再編により労働者の雇用を維持する場合に、事業再編に必要な新たな人材に係る賃金の一部を助成する措置を新たに盛り込んでいる。 また、スキルアップ支援コース（仮称）を新設し、労働者のスキルアップを在籍型出向により行う場合に、労働者を送り出す事業主に対して助成することにより在籍型出向を推進し、企業活動を促進するものであり、雇用機会の増大等雇用の安定を図ることとしている。
625	職業安定局	特定求職者雇用開発助成金（特定就職困難者コース）	引き続き適正な事業執行に努めること。（横田 響子）	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り
629	職業安定局	職業評価部門施設経費	執行率が低い年や、翌年度への繰り越しが見られる年もある。点検を安定的な土地借地のみにとどめず、変動が生じやすい施設改修費について点検し、より予算の精度を高めるよう努めていただきたい。（栗原 美津枝）	事業内容の一部改善	障害者の職業リハビリテーションセンターとして重要な施設であり、施設の改修・修繕は利用者のために必要であるが、執行率が低調であることの要因を分析すること。	-	執行等改善 本施設整備費について、夏期休暇等の訓練未実施期間に断続的に工事を実施する必要がある等のため翌年度への繰り越しが必要になることがあるものの、障害者職業能力開発校から必要とされる整備等を聴取して緊急度の高いものから執行する等により、執行率は改善している。引き続き適切な執行に努めていく。
637	職業安定局	公正採用選考等推進費	経年の傾向から仮に執行率が上がらない場合、身の丈に合わせた実績ベースに予算額を合わせることも検討ください。また、一者応礼があるようですので、解消に向けて今後も検討をお願いします。（井出 健二郎）	事業内容の一部改善	活動実績及び成果実績は目標を上回っているものの、執行率が低調のため、真に必要な経費について精査を行うこと。 また、一者応礼となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	執行等改善 新型コロナウイルス感染症の影響により対面による研修等を中止したため執行率が低調であったが、オンラインによる研修設備を整え適切な執行に努める。 また、一者応礼であった案件については入札辞退者に対しヒアリングを実施し、次回入札に向けて改善を検討している。
646	職業安定局	発達障害者の特性に応じた支援策の充実・強化	アウトプット指標のうち「発達障害者雇用トータルサポーターの支援実施件数」については、単に前年度実績を目標とするのではなく、対象者に対する比率等によって客観的な目的設定を行うことが望ましい。 令和3年度に開始された雇用トータルサポーター（大学等支援分）についてはやや低調な出だしとなっていることから、原因の把握と改善に取り組まれることを期待する。その際、COVID-19に伴って対面でのコミュニケーションが困難となったなどの要因に対してはオンライン化などの手段についても検討されたい。（大屋 雄裕）	事業内容の一部改善	「発達障害者雇用トータルサポーターの支援実施件数」については、単に前年度実績とするのではなく、客観的な目標設定を行うことを検討すること。 雇用トータルサポーター（大学等支援分）については、活動実績及び成果実績を下回っている要因を分析し、執行率の改善を図ること。	-	執行等改善 「発達障害者雇用トータルサポーターの支援実施件数」で設定する目標については、今後検討することとしたい。 雇用トータルサポーター（大学等支援分）について、実績不調労働局に対してヒアリングを行い、実績不調の要因を分析した上で改善に向けて指導することで、活動実績と成果実績の向上及び執行率の改善に取り組むこととする。
654	職業安定局	高齢者雇用安定助成金	当該事業は令和4年度をもって経過措置終了とされていますので、他の予算措置されている事業が対応して行くことと考えられます。よって当該事業に関しては現状を認めます。（増田 正志）	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 事業は当初の予定通りの成果を達成したため、令和4年度をもって終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
661	職業安定局	教育訓練受講者支援資金融資事業	引き続き必要額を検討したうえで、適正な執行を求める。（松原 由美）	現状通り	引き続き、必要な予算額を精査し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 令和3年度の執行率を踏まえ、令和5年度予算についても必要額の要求を行う。
668	職業安定局	地域外国人材受入れ・定着モデル事業	本事業は、コロナ禍での影響をもろ受けるものでありながら、コロナ前に企画された内容のまま予算額だけを繰り越している状況にある。Withコロナ、Afterコロナには、同じ事業目的であったとしても、そのあり方は大きく変わるだろう。副業、DXを含め、外国人の雇用のあり方も大きく変わって来ている。事業概要を抜本的に見直して、時代の変化を取り入れた新しいチャレンジをしていただきたい。（元吉 由紀子）	終了予定	令和4年度に事業を終了できるよう、現状の課題の分析を行いつつ、適正な執行に努めること。	-	予定通り終了 本事業は、令和2年度から令和4年度までの国庫債務負担行為により実施しており、予定通り令和4年度で事業を終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
669	職業安定局	トライアル雇用助成金事業（新型コロナウイルス感染症対応（短時間）トライアルコース）	支給要件の見直しを図り今後は支給実績増加が見込まれる点、常用雇用移行が順調であることは評価できる。引き続き適正かつ効率的な事業執行に努めること。 新型コロナウイルスによる雇用環境の変化に注視し今後の事業の在り方について検討を行うこと。（横田 響子）	事業内容の一部改善	活動実績が目標を下回っている要因を分析し対象労働者の要件の見直しを行っているところ、見直しの効果検証を行いつつ適正な執行に努めること。	▲2,433	縮減 令和5年度概算要求においては、事業実績等を踏まえた対象人員の見直し等により適正化を図ることとする。
670	職業安定局	高齢労働者処遇改善促進助成金	R3年度から開始された事業だが、実績が0となっている。その原因および改善策について点検されている通り、制度の周知、実績等を踏まえ要件見直し等をしつつ、事業の適切な執行を行って頂きたい。（栗原 美津枝）	事業内容の一部改善	令和3年度から開始された事業であり、支給決定まで時間を要するスキームであるが、要件の見直しの検討を進めるとともに、適正な執行に努めること。	▲537	縮減 要件の見直しについて検討を進め、適正な執行に努めるとともに、実績等を踏まえて概算要求額の縮減を図る。
674	人材開発統括官	能力開発基本調査	必要な事業と認識しておりますので、調達における競争性の確保に関する策を今後ともご検討いただき、回収率向上にも努めてください。（井出 健二郎）	事業内容の一部改善	成果実績が低調である要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。	-	執行等改善 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から調査員調査を取り止め、郵送調査（回答は郵送又はオンライン）のみで調査を実施していることが、成果実績（目標とする有効回答率の達成状況）が低調となっている要因の一つであると考える。 引き続き、新型コロナウイルス感染症により調査員調査の実施は難しいこと、これを機にデジタル化の進展にも対応したオンライン回答の推進が望ましいことから、今後は郵送調査を基本としたうえで、オンライン回答の向上を通じた有効回答率の向上を図る。
675	人材開発統括官	介護労働者雇用改善等援助事業費	介護労働講習受講者数・相談件数ともアウトプット指標を下回った理由として、COVID-19の影響により対面での接触が困難になったという説明は首肯することができる。今後はオンラインによる実施などICTの活用を含めた対応について検討することが望まれる。（大屋 雄裕）	事業内容の一部改善	活動実績が低調である要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。	-	執行等改善 新型コロナウイルス感染症の影響により受講者数は減少したが、介護分野の人材育成は依然として急務となっており、引き続き介護人材の安定的確保・資質向上を図る必要があることから、介護労働安定センターが介護労働者の雇用管理の改善等に関する法律に定められた業務を適切に実施するため、必要な予算を要求するとともに、受講者の確保に向けた取組の強化を図る。なお、介護労働講習の一部をオンラインにより実施するとともに、事業主及び介護労働者への相談についてもオンラインにより実施しており、今後もICTの活用を含め、事業の適正な執行を図る。
678	人材開発統括官	認定職業訓練助成事業費	中小事業者が雇用する従業員の能力開発・職業訓練は中小企業が独自にすることは難しく、認定訓練校に依拠するのは有効であり合理的と考えます。よって当該事業は継続を相当と判断します。ただこの数年間の予算執行率は80%前後であり、対象となる中小事業者への広報活動が必要かと考えます。（増田 正志）	事業内容の一部改善	活動実績が低調である要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。	-	年度内に改善を検討 予算執行率や活動実績の改善に向けた要因分析を行い、効率的・効果的な執行に努める。
696	人材開発統括官	外国人技能実習機構に対する交付金	技能実習生の人権確保にも注力して頂きたい。引き続き適正な執行を求める。（松原 由美）	事業内容の一部改善	活動実績が低調である要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。	-	現状通り 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う入国制限の影響により、技能実習計画の申請件数自体が大幅に減少したため、技能実習計画の認定件数が低調になったが、入国制限緩和による申請件数増加に備えつつ事業の適正な執行を図ってまいりたい。
699	人材開発統括官	障害者職業能力開発校運営委託費	本事業は通常事業と認められるため、政策体系の中で特に優先度が高いとまではとらえにくい。受講者が常に見込みの60%を割っており、就職率も目標を下回っているにもかかわらず、予算執行率は90%を超えている。運営に無駄が生じている可能性があり、点検結果には11の都道府県への委託による差はないかなど、原因を分析し、改善の方向性には、具体的な対策を記す必要がある。「引き続き効果的・効率的な業務運営に務める」ではすまされぬ。各自治体での自走力を高めるために、国としてノウハウの蓄積、開示、共有を担う必要もある。なお、関連事業には、その他障害者の就職に寄与する事業も付記して、無駄なく相乗効果を高めていただきたい。（元吉 由紀子）	事業内容の一部改善	活動実績が低調である要因を分析し、事業の適正な執行を図ること。	-	執行等改善 障害者職業能力開発校では精神障害者等を重点的に受け入れて障害特性に応じた訓練を実施しており、障害者職業能力開発校の運営費は、施設・設備の管理費や指導員経費など固定経費が大半を占めるため受講者数を勘案した予算の削減は困難であるが、都道府県ごとの運営による差がないかなどは原因を分析し、委託額に反映させる形で適正な執行に向け受講者数の確保に努めつつ、改善を図る。
703	子ども家庭局	保育対策の推進に必要な経費	R4年度事業移管に伴い終了する事業。事業移管後も、不用額が生じていることやオンライン会議の併用による効率的実施を継続的に有効活用し、適正な予算計上とともに事業執行を行うこと。（横田 響子）	終了予定	本事業は子ども家庭庁へ移管するため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 厚労省としては当該事業は終了する。なお、子ども家庭庁へ事業移管後も、予算の一部見直しを行いつつ、適正な予算計上とともに事業執行に努める。
705	子ども家庭局	保育対策総合支援事業費補助金	様々な事業を実施し、執行率は高い。各事業の利用状況、成果目標の受け皿整備数を把握し、R6年度の目標達成に向け適切に執行すること。（栗原 美津枝）	終了予定	本事業は子ども家庭庁へ移管するため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 厚労省としては当該事業は終了する。なお、子ども家庭庁へ事業移管後も、ご指摘を踏まえ、各事業の利用状況、成果目標の受け皿整備数を把握した上で、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
708	子ども家庭局	子ども・子育て支援対策推進事業費補助金等(子ども・子育て支援体制整備総合推進事業及び地域児童福祉事業等調査費、児童福祉実態調査費を除く)	事業の重要性は認識しています。事業費の性格上コンサルが手上げすることを一概には否定しません。ただし、見るからに多数の事業を獲得する業者があります。一定程度の採用数の上限を設けるなど、偏りなく多くの事業者任せられる体制を検討されてもよいように思います。もちろん、これは本件にかかわらず他局部の補助金にもいえることですので、先んじて妙案をいただければ幸いです。(井出 健二郎)	終了予定	本事業は子ども家庭庁へ移管するため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 厚労省としては当該事業は終了する。なお、子ども家庭庁へ事業移管後も、ご指摘の点については、引き続き検討課題とさせていただきます。
731	子ども家庭局	児童福祉実態調査費	他の事業を推進する基盤として体制を整えるための経費であり、固有のアウトカム指標を持たないものとして整理することが適切ではないか。現状でアウトカム指標として設定されている調査票の回収率は目標を下回っており、原因の分析と改善が望まれる。調査方法を変更したために不要率が大きくなったという説明自体は首肯できるものであるため、その点を反映した予算積算の適正化が望まれる。(大屋 雄裕)	終了予定	本事業は子ども家庭庁へ移管するため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 厚労省としては当該事業は終了する。ご指摘については、回収率の向上が統計精度の向上につながるため、引き続き、調査の回収率をアウトカム指標とさせていただきたい。なお、回収率については、原因を分析し、次回の同調査事業時には改善を図った上で予算積算の適正化に努める。
735	子ども家庭局	生涯を通じた女性の健康支援事業	当事業は平成8年度より令和3年度まで実施されたもので、一定の評価がなされたものと考えられます。(増田 正志)	終了予定	本事業は子ども家庭庁へ移管するため、令和3年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 厚労省としては当該事業は終了する。なお、子ども家庭庁へ事業移管後も、引き続き、適切な事業実施に努める。
749	子ども家庭局	多胎妊娠の妊婦健康診査支援事業	引き続き適正な執行を図ること。(松原 由美)	終了予定	本事業は子ども家庭庁へ移管するため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 厚労省としては当該事業は終了する。なお、子ども家庭庁へ事業移管後も、引き続き、適切な予算執行に努める。
750	子ども家庭局	不育症検査費用助成事業	優先度の高い新規事業に関わらず、不用率の大きさに関する点検結果において要因分析が見受けられない。このまま同額の予算化が設定されるのであれば、改善策を十分に記す必要がある。令和4年終了予定となっているが、継続実施するためには、成果目標を設定し、しっかり検証できるようにする必要もある。(元吉 由紀子)	終了予定	本事業は子ども家庭庁へ移管するため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 厚労省としては当該事業は終了する。なお、ご指摘を踏まえ、不用の要因分析・改善結果を修正した。また、子ども家庭庁へ事業移管後も、ご指摘の通り、事業実績等を踏まえた上で、成果目標の設定が出来ないか検討してまいりたい。
751	子ども家庭局	母子保健衛生対策推進事業費委託費	普及のため、より多くの受講者やフォーラム参加を促す取り組みを進めるとともに、複数応札を継続的に保ち適正な事業執行に努めること。またアウトカムとして、育成した受講生に対し、研修終了時アンケートでの今後の活動見込み確認や、その後の活動状況フォローアップなど定量的に事業効果を図る検討を行うこと。(横田 響子)	終了予定	本事業は子ども家庭庁へ移管するため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 厚労省としては当該事業は終了する。なお、子ども家庭庁へ事業移管後も、ご指摘を踏まえ、適正な事業執行を図りつつ、事業実績を踏まえ、アウトカム指標の設定について必要な検討を行ってまいりたい。
755	子ども家庭局	母子父子寡婦福祉貸付金	執行率が低い、その原因の点検およびR4年度の予算額の減額見直しが行われている。R4年度に終了する事となっているが、移管される場合は、利用状況を見つつ引き続き予算規模や貸付要件等の見直しを行い適切に執行すること。(栗原 美津枝)	終了予定	本事業は子ども家庭庁へ移管するため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 厚労省としては当該事業は終了する。なお、子ども家庭庁へ事業移管後も、執行率を鑑みて、予算額の見直し減額を行い、適切な執行に努めてまいりたい。
758	子ども家庭局	ひとり親家庭等自立促進基盤事業	令和4年度をもって終了の事業は理解しました。本事業の成果を検証していただき、可能であれば発展解消してより有効な事業策定を期待しております。(井出 健二郎)	終了予定	本事業は子ども家庭庁へ移管するため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 厚労省としては当該事業は終了する。なお、子ども家庭庁へ事業移管後も、事業実績を踏まえ、必要に応じ成果の検証を行う。
763	社会・援護局(社会)	生活保護に関する調査事業	調査データの回収率が9割を超える状況にあるが執行率が低下している。特に令和3年度はかなり低い執行率に留まっていることから、経費の見積もりについて改善することが望ましい。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	執行状況を踏まえ、必要な事業の見直し等を行い、適切に予算額等に反映させること。	-	年度内に改善を検討 ご指摘を踏まえ、調査データの回収率と執行率の乖離について、今後分析・検討を行い、改善を図ってまいりたい。
765	社会・援護局(社会)	日常生活支援住居施設管理職員等資質向上研修	少ない予算でより実効性のある研修等を開催されることを期待し、現状維持と認めます。(増田 正志)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 実効性がある研修等が開催できるよう、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。
766	社会・援護局(社会)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金	日本は居住に関する福祉が乏しいことで知られており、この点への充実を期待したい。引き続き適正な執行を求める。(松原 由美)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、住居確保給付金を含めた各事業の実施に必要な予算の確保に努め、各自治体において適切な取り組みが行われるよう支援を行う。
767-2	社会・援護局(社会)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(うちひきこもり支援推進事業)	非常に繊細なサービス事業であり、成果を定量的な指標で計ることは、総合的な実態把握をするうえでやむを得ない側面がある一方、効率性を求めることには注意が必要である。例えば、相談件数や活動件数、単位当たりのコストを追えば、1件当たりのきめこまかなサービスの低下につながったり、随意契約を安易に防ごうとすることが要援護者との長年の信頼関係を構築している事業者のサービスの維持、雇用が失われかねないからだ。事業の重要性から、現場に近い自治体が責任を持って遂行できる環境と、安心してサービスを受け続けることができる体制を継続確保いただきたい。なお、国が統括するのであれば、都道府県へ交付するだけでなく、今後の改善策には、サービス提供者がスマホを活用して報告事務負担を簡素化して支援時間割合を拡大したり、WEBを活用してノウハウを共有する研修機会を設けるなどして、バックアップ体制を改善策を行う事業の強化も期待される。(元吉 由紀子)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り ひきこもり支援については、個々の状況に応じて丁寧な寄り添うことが重要であり、様々な支援の選択肢を用意しつつ、また、当事者やご家族の声も聞きながら取り組むことが必要と考えている。ご指摘も踏まえ、各自治体において、ひきこもり状態にある一人ひとりに寄り添った支援が継続できるよう、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
773	社会・援護局(社会)	居住支援相談窓口の設置・周知支援事業	一者応札解消のため入札の競争性を保つ環境を整え、引き続き適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	一者応札となっている事業について要因を分析し、改善を図ること。	-	執行等改善 情報サイトの立ち上げだけではなく、不安定居住者に関する相談支援を行う事業であったことから、専門知識を有しない事業者が応札を辞退したことも一因と考えられる。そのため、入札説明の丁寧な説明はもとより、専門知識を有する事業者から応札があるよう工夫した広報が必要であったと考えられる。 また、以下の取り組みを通じて、事業者が応募しやすい環境を整えることで、一者応札の現状を改善してまいりたい。 ・入札情報の公開にあたっては、引き続き制度や調査事業の実施内容に関して丁寧な説明を行うとともに、相談支援の実績がある関係団体を通じた周知を行うことにより、幅広い事業者からの参加を募る。 ・公告期間を今回(開庁日14日)より長く取ることにより、より多くの事業者からの参加を募る。
784	社会・援護局(社会)	ひきこもりに関する地域社会に向けた普及啓発と情報発信の実施	ひきこもりに対する社会の理解促進のための事業としては、一般競争入札の実施、WEBイベントの実施状況等、執行状況は適切である。R3年度から開始された事業であり、ひきこもりに関する関連事業との分担や連携のあり方、本事業の事業目的への有効性を確認しつつ、引き続き適切に執行すること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り
785	社会・援護局(社会)	重層的支援体制整備事業交付金	令和3年度開始ですね。必要な事業と認識していますし、予算額が大きいことから、一度EBPMのフレームに合わせて事業全体を俯瞰してはいかがでしょうか。活動目標・成果目標などから、どんな政策目標に最終的な行き着くかなどが可視化されるとと思います。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 当事業は、包括的支援体制を整備することが目標であり、そのためにどのように自治体に対し支援していくことが適当であるか、ご指摘も踏まえつつ、引き続き検討してまいりたい。
790	社会・援護局(社会)	中央福祉人材センター運営事業費	アウトプット指標・アウトカム指標については単に前年度の実績に基づいて設定するのではなく、想定される対象者の規模やそれに対する割合などに基づいて客観的に算出することを検討すべきである。(大屋 雄裕)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。 なお、レビューシートにおけるアウトプット指標、アウトカム指標については、外部有識者の所見を踏まえ、今後見直すこと。	-	年度内に改善を検討 引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。 レビューシートの記載内容については、ご指摘を踏まえ、今後適切な指標を用いることを検討してまいりたい。
793	社会・援護局(社会)	社会福祉施設職員等退職手当共済事業給付費補助金	社会福祉施設で働く職員のための退職金財源を担保することを目的とした事業であり、円滑な福祉事業の運営に欠かせない措置と考えます。補助金等交付先の独立行政法人にも会計監査人の法定監査によって適正な執行が担保されているものと考えられ、現状維持と判断します。(増田 正志)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 当該事業は、社会福祉施設で働く職員のための退職金財源を担保することを目的とした事業であり、福祉人材の確保に資することから、引き続き適正な執行に努める。
795	社会・援護局(社会)	民生委員関連経費	引き続き適正な執行に努めること。(松原 由美)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいりたい。
802	社会・援護局(社会)	独立行政法人福祉医療機構運営費交付金	必要不可欠は当たり前の要件であり、優先度を非常に高いとするには別の要件が必要。①活動指標が大きく変動しているにもかかわらず成果目標福祉医療貸付制度の広報回数が横ばい、②活動目標経営支援事業が令和2、3年と開催されていないにもかかわらず成果マスコミ・論文等の引用回数が200%前後の目標達成、③成果目標平均処理期間のサービス向上が見られない、④福祉保健医療情報サービス事業が大幅増しているにも関わらず、情報充実及び機能の見直し成果が低下など、活動と成果指標の選定が適切にできているのかに疑問を感じる。委員会等による評価、外部有識者の点検結果が概ね妥当とのことだが、長期継続事業であればこそ、たゆまぬ見直しと業務効率化・サービス向上に向けた努力が必要。点検結果には、具体的な改善結果、課題を付記することが望まれる。(元吉 由紀子)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。 なお、外部有識者の所見を踏まえ、点検・改善結果については具体的な改善結果、課題を付記すること。	-	現状通り 成果指標は、中期目標の定量的指標を基に設定していることから、ご指摘いただいた内容を踏まえ、第5期中期目標を検討する上で参考にさせていただきます。 また、点検結果について、ご指摘いただいた内容を踏まえ、具体的な改善結果を追記する形で修正している。
807	社会・援護局(援護)	昭和館運営事業	歴史を貴重な資料とともに若年層に知る機会を提供することは重要である。新型コロナウイルスの感染症の状況に留意しつつ、今後の来館者数や来館小中高数については前年以上にこだわらず適正な目標設定が必要。またコロナ期間中にオンラインによる発信強化がスタートしたことをプラスととらえ、来館に加えオンラインコンテンツの視聴や教材としての活用を広報資料にて促すなど工夫を行うこと。あわせてアウトカムとしてオンラインコンテンツの活用状況についても実績を把握していく検討を行うこと。(横田 響子)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。	-	現状通り オンラインコンテンツ活用促進のため、オンライン学習用資料映像制作経費を要求している。 また、所見を踏まえて、より適切な活動指標の設定を検討してまいりたい。
808	社会・援護局(援護)	遺族及留守家族等援護活動費補助金	活動実績、執行率とも問題なく、適切に執行されている。引き続き適切に執行すること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
811	社会・援護局(援護)	遺骨収集関連事業	必要な事業であり、公費の投入も理解しています。ただし、開始年度を鑑みますと、これまでの事業方法ややり方を一度整理し、検討してみてもよいのではないかと思います。もちろん、そうした検討によって、普遍的であることが確認されればそれもひとつの成果のように思われます。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	よりコストの低い他の手法を取り入れる等により、予算額の縮減を含めた執行率の向上のための方策を検討すること。	-	現状通り ・令和2年5月に「戦没者遺骨収集事業及び事業実施体制の抜本的な見直しについて」を取りまとめ、遺骨収容のプロセスに関して、収容時の形質鑑定等において日本人の遺骨である蓋然性が高い場合に、DNA鑑定用の検体(遺骨の一部)を採取し持ち帰り、他の部位は未焼骨のまま現地で保管する等の見直しを行った。現在、この見直し後の方針に沿って遺骨収集事業を実施しているところ。 ・遺骨収集事業は、遺骨収集の推進に関する法律に基づき、平成28～令和6年度までの集中実施期間において計画的に事業を進めることとしているが、令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部を除き実施を見合わせたところ。このため、令和6年度までの集中実施期間内の実施を前提に令和5年度において最大限の遺骨収集の実施に必要な経費を要求する。 ・予算執行については、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえたうえで、引き続き、必要な経費を精査し、適切に事業を実施する。
819	社会・援護局(援護)	中国残留邦人等に対する定着自立支援事業	アウトプット指標については単に前年度実績を目標値とするのではなく、潜在的な対象者の規模や望ましい参加割合などから客観的に設定することが望まれる。日本語学習に関する遠隔学習支援のアウトカム指標については、単なる利用者数ではなく、一定の日本語能力を獲得した人数・比率など事業目的の達成水準を反映したものにすることを検討されたい。引き続き一者応札の解消に取り組まされたい。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	より適切な活動指標を設定すること。一者応札の解消に取り組むこと。	▲0	縮減 執行状況を踏まえ、中国帰国者支援・交流センター経費(引揚者定着促進等委託費)を縮減した。また所見を踏まえ、より適切な活動指標の設定及び一者応札の解消に向けた取組を検討してまいりたい。
822	社会・援護局(援護)	人事関係等資料整備事業	当該事業は戦後抑留されて死亡した多くの日本人のデータ整理・管理するもので、戦後77年が経過し、遺族も少なくなっていると思います。予算執行率は低いのですが、やむを得ないものと考え、現状維持と判断します。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り
837	障害保健福祉部	障害者芸術文化活動普及支援事業	引き続き適正な執行に努めること。(松原 由美)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き必要な予算を確保し、適正な執行に努め、効率性の高い事業が実施できるよう検討を行う。
849	障害保健福祉部	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園運営費交付金に必要な経費	必要な事業は当たり前、優先度を高いと記すためには重要度と緊急度から他の事業よりも優位である別の要件が必要。支出を人件費と物件費など運営経費に限定しているとのことだが、本事業の目的にある②調査、研究、情報提供、③支援者の養成及び研修、④施設への援助助言についての目標なく、成果との結びつきがみられず、施設利用者の縮減とされることに矛盾がある。今後縮減、地域への移行を進め、事業廃止を予定するならば、それに合った事業目的、活動指標に変更すべき。(元吉 由紀子)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。なお、レビューシートにおける事業目的、活動指標については、外部有識者の所見を踏まえ、今後見直すこと。	-	現状通り 引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。事業概要に記載の業務①～⑤については、セグメントシートにて事業毎に事業目的及び活動指標を記載していたところ、今後は本シートにも記載し、わかりやすい記載となるよう見直す。
852	年金局	特別障害給付金給付に必要な経費	引き続き、適正な事業執行に努めること。但し、事業特性上、年々給付対象者が減少傾向にある事業であり、執行体制や手法については適時適切な見直しを図ること。(横田 響子)	現状通り	給付に支障のないよう、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り
856	障害保健福祉部	障害者自立支援機器等開発促進事業	執行率は高く、目標とする成果目標も達成されている。補助事業の継続にあたっては、活動実績(マッチング件数や交流会への参加者数)等を把握し有効性を確認しつつ進めること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
860	障害保健福祉部	重度訪問介護等の利用促進に係る市町村支援事業	必要な事業と認識しています。これまでは実績が予算を越えることが多く、令和4年度は調整されています。特に問題はありませんが、適切な予算執行を今後ともお願いするところです。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
873	障害保健福祉部	共同受注窓口を通じた全国的受発注支援体制構築事業	今後の政策検討の基礎として必要な事業であり、それ自体としてのアウトカム指標を設定しがたいという説明は首肯することができる。アウトプット指標がやや低調であることから、原因が特定できる場合には改善することが望まれる。(大屋 雄裕)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了 当該事業は終了するが、ご指摘のアウトプット指標の結果を検証・分析しながら、得られた知見とともに他の事業にも活用してまいりたい。
874	障害保健福祉部	生活のしづらさなどに関する調査	本事業は5年ごとに実施してきたものですが、令和3年度はコロナの影響で実施を1年繰り延べています。障害者の生活実態の把握をする事業であり、施策の構築にあたり必要な事業と認めます。(増田 正志)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
875	障害保健福祉部	補装具装用訓練等支援事業	引き続き適正な執行に努めること。(松原 由美)	現状通り	引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
880	年金局	公的年金財政検証関係経費	必要な事業は当たり前、優先度を高いと記すためには重要度と緊急度から他の事業よりも優位である別の要件が必要。デジタル庁へ移管されても、引き続きコスト削減を図り、有効な選定と検証を進めていくこと。(元吉 由紀子)	終了予定	厚生年金、国民年金の年金財政について、安定性、公平性の確保に関し、年金数理的な視点から統一的な検証を行うために必要な事業であるが、本事業はデジタル庁へ移管するため、令和3年度をもって終了すること。なお、移管後においても引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	予定通り終了 当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
881	年金局	年金生活者支援給付金の支給に必要な事務費	競争入札案件については引き続き競争性を担保し、適正な事業執行に努めること。またシステム予算及び執行の管理はデジタル庁と連携を図り、適切に対応を行うこと。(横田 響子)	事業内容の一部改善	競争入札案件については引き続き競争性を担保し、適正な事業執行となるよう執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。	▲182	縮減 執行状況を踏まえ、予算額を縮減した。
889	年金局	社会保険オンラインシステムの運用等に必要な経費	適切に執行されている。次期システムへの移行も踏まえつつ、引き続き適切に執行すること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、精緻な見積りによる予算要求と適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、精緻な見積りによる予算要求と適正な執行に努める。
890	年金局	社会保険オンラインシステムの見直しに必要な経費	執行率が若干低調と思いますが、令和4年度は予算額が調整されています。予算額が大きいことから、「情報システムの整備及び管理の基本的な方針」に則り、適切な予算執行に努めていただきたい。(井出 健二郎)	現状通り	執行率を踏まえつつ、システムの開発状況に応じた予算要求と適正な調達及び執行に努めること。	-	現状通り システムの開発状況を踏まえた予算要求を行うとともに、適正な調達及び執行に努める。
893	年金局	ねんきん定期便	法律により定められた事業であり、引き続き適切な執行に努力されたい。(大屋 雄裕)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、コスト削減やねんきんネットの普及に取り組み、適切な予算確保に努める。
898	老健局	老人保健健康増進等事業	当事業は高齢者に対する施策を調査研究するもので、事業評価を得て次年度以降の政策に反映させるものとしてその意義を認めます。今後とも介護保険制度に係る高齢者保健福祉施策の的確な運営がなされるよう、当該調査研究事業を継続すべきと考えます。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 老人保健福祉サービスの一層の充実や介護保険制度の適正な運用に必要な事業として、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めていく。
899	老健局	在宅福祉事業費補助金	引き続き適正な執行に努めること。(松原 由美)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り
903	老健局	高齢者の日常生活支援の推進に必要な経費	アウトカムが贈答率でいいのか？そもそも多様化の時代に一律の贈答品でよいのか検討が必要。不要という人がいてもよいはず。記念品の選定調査、選定理由の点検、改善を定期的実施する必要がある。コスト削減は、そのうえで継続努力すること。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	より効果的な他の手法に重点化等すること。また、外部有識者のコメントを踏まえ、より適切なアウトカムを設定できないか検討すること。	-	執行等改善 記念品を多様化することについては、自治体等での業務量やコストの増加を含めた検討が必要と考えているが、コストを低減させる又は費用対効果の高い方法への転換も視野に、不断の見直しを実施し、引き続き適正な執行に努めてまいりたい。
910	老健局	高齢者権利擁護等推進事業	アウトカムにおける体制整備充実の状況を分析し対策を講じるとともに全都道府県での事業遂行を目指し、引き続き適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 当該事業の成果指標の根拠として用いている、厚生労働省調査(「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況調査」)における虐待防止体制整備状況の分析結果に基づいて対策を講じ、全都道府県での事業遂行を目指し、引き続き適正な事業執行に努める。
913	老健局	介護給付費負担金	年々増加傾向にある事、執行率は高いが執行規模が大きい事から不用額が2千億円程度発生している事から、予算の精度をより高めてより適切な執行に努めること。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	予算の精度をより高めるための具体的な方策を講じること。	-	年度内に改善を検討 予算の精度を高めてより適切な執行を行えるよう努める。
915	保険局	介護納付金負担金等	必要な事業と認識しています。特に問題はありますが、今後とも適切な予算執行とそのチェックについてお願いするところです。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めることとする。
919	老健局	医療・介護サービスの提供体制改革のための基金	具体的な計画の策定・実施が各都道府県に委ねられているとしても、一定の国費を投入する事業である以上、それらを通じてどのような状態を実現しようとしておりどの程度実際に達成できているのかを国の観点から把握し評価することは不可欠である。アウトカム指標の設定しがたい事業と整理することは適切ではなく、事業概要に掲げられた取り組み内容のそれぞれに応じた指標を設定し、達成状況を評価することが強く望まれる。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	外部有識者のコメントを踏まえ、アウトカム指標を設定すること。また、本事業の目的を達成するための費用対効果の高い執行方法を検討すること。	-	現状通り 成果目標について、所見を踏まえた見直しを実施する。また、本事業の目的達成のため、整備計画の検討期間を確保する観点から、次年度の事業内容等の早期周知を検討する。
928	老健局	介護関連データの収集等に係るシステム改修費	当事業は令和3年より始まったもので、自治体によってはシステムの改修等を必要としない例もあり、執行率が低くなっていますが、介護事業の適正化に必要な施策であるため、現状維持と判断します。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き、各自治体の執行状況を勘案した上で必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
929	老健局	介護関連データ利活用に係る基盤整備事業費	本事業自体は素晴らしいデータであり、かつ適切に執行されていると考える。一方でWAMを利用した福祉情報の収集もある。データ管理が複数にまたがることで、データ利活用の弊害となっていないかの視点で、局を超えた厚労省のデータ管理、活用を検討頂きたい。(松原 由美)	事業内容の一部改善	データの利活用について点検・改善を行うこと。	-	年度内に改善を検討 外部有識者のコメントを踏まえ、介護関連データの利活用についてより効率的・効果的な方策がないか、引き続き検討を行う。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況		
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容	
940	大臣官房(国際課)	開発途上国向け医薬品研究開発支援事業	必要な事業は当たり前、優先度を高いと記すためには(国民の生命と財産に関わる)重要度と緊急度から他の事業よりも優位である別の要件が必要。この点優先度が高いとは判断し難い。事業目的に日本の製薬産業の成長と発展を図ることがあるならば、アウトカムと点検結果には、これに関する指標を加え、点検を行う必要がある。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、事業目的に沿った新たな成果指標を設定すること。	-	年度内に改善を検討	日本の製薬企業の成長と発展に関する新たな指標の策定について追加するよう検討してまいりたい。
945	大臣官房(国際課)	開発途上国福祉専門家養成等事業	引き続き適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	事業内容の一部改善	水道分野の国際協力検討事業については、一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	▲2	縮減	水道分野の国際協力検討事業は、事業計画等の見直しを行い複数業者が入札できるように改善を図ることとする。また、執行状況を踏まえ、要求額の縮減を行った。
946	人材開発統括官	技能評価システム移転促進事業	本事業予算額の執行率が低いこと、一般競争契約による支出が一者応札となっている点の改善に努めつつ、引き続き本事業を適切に執行すること。本事業による技能評価の移転効果については、官民合同会議での把握、長年の支援成果が見られない事業の取り止め、成果の定着による自立促進を行なっているとの点検結果が記載されており、適切にODA事業としてのモニタリングが行われていると思われる。(栗原 美津枝)	事業内容の一部改善	執行率を踏まえ、真に必要な予算の確保に努めること。また、一者応札となった要因を分析し、改善を図ること。	▲0	年度内に改善を検討	新型コロナウイルス感染症による渡航制限・水際対策により旅費等の執行額が減少したが、オンラインによる研修等の実施により一定の成果を上げている。同感染症の収束状況や本事業の進捗状況等を定期的に確認した上で、現地に派遣した日本人専門家による対面での技術移転を実施するなどにより、引き続き、効率的・効果的な執行に努める。一者応札を改善するため、より多くの者が応札できるように入札公告から入札書提出までの日数を増加させた。また、多くの者が入札に参加できるように事業情報の提供体制を強化する。
951	試験研究機関	安全性生物試験研究センター運営費	必要な事業と認識しています。ただし、開始年度からしますと、長期の事業です。継続・普遍であることも必要ですが、一度これまでの事業の振り返りをしてよろしいかと思えます。特に問題はありますが、適切な予算執行を今後ともお願いするところです。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	引き続き、必要な予算の確保と適正な執行、一層のPDCAサイクルに努めていく。
952	試験研究機関	国立医薬品食品衛生研究所施設管理事務経費	他の事業を推進する基盤として体制を整えるための経費であり、固有のアウトカム指標を持たないものとして整理の方がより適切ではないか。引き続き一者応札の解消に取り組まれない。(大屋 雄裕)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。また、外部有識者のコメントを踏まえ、一者応札の解消に取り組むこと。	-	年度内に改善を検討	外部有識者の所見に記載のとおり、本事業は他の事業を推進する基盤・体制を整える事業であるが、現在設定しているアウトカム指標(水処理施設正常稼働率(稼働した水処理施設数/水処理施設数))は、庁舎より実験の過程で発生する汚染水を基準値以下の値にして排水することを目標としており、未達成の場合は排水事故につながり、当排水事故が周囲に害を及ぼすこととなった場合、国民の健康と生活環境を維持向上させるために必要な試験・研究・調査を実施できなくなるおそれがあることから、基盤・体制を整える事業のアウトカム指標として適当かと思われる。しかし、ご指摘を踏まえ、事業を推進する中で得られた知見を踏まえ、本事業における望ましい指標の設定方法について検討する。また、一者応札への対応については、公告期間を長くすることや入札説明会での説明を充実させることにより、改善を図りつつ、適正な執行に努めていく。
954	試験研究機関	国立医薬品食品衛生研究所共同利用型高額研究機器整備費	化学分野の高額な研究機器を調達・維持補修を行う事業であり、現状を維持するべきと判断します。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	引き続き、必要な予算の確保と適正な執行及び一層のPDCAサイクルに努めていく。
965	試験研究機関	国立保健医療科学院競争的研究事務経費	今後も適正な執行に努めること。(松原 由美)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
980	試験研究機関	生物安全対策費	必要な事業は当たり前、優先度を高いと記すためには(国民の生命と財産に関わる)重要度と緊急度から他の事業よりも優位である別の要件が必要。研究者の保護を目的とするならば、成果指標は定期点検の結果の合否判定でよいのではないか。ただし、通常点検業務となることからコスト削減努力は引き続き必要。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。また、外部有識者のコメントを踏まえ、コスト削減の努力をすること。	-	年度内に改善を検討	病原体の中で、特に病原性の高いもの(BSL3以上)を取り扱う施設を適切に維持・管理することは、病原体の安全管理並びに病原体等に起因して発生する曝露及び事故の未然防止を図り、研究者の保護だけでなく市民の安全・安心を確保することにもつながるため、緊急かつ重要度の高い事業であるといえる。次年度より成果指標を「定期点検の結果、不適がないこと(不適がない場合を100とする)」に設定し、事業の効果測定を適切に行えるよう努める。また、外部有識者のコメントを踏まえ、コスト削減については引き続き実施する。
984	試験研究機関	国立感染症研究所共同利用型高額研究機器整備費	入札の競争性をはかりつつ、引き続き適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況		
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容	
990	試験研究機関	医療・福祉サービス研究	研究成果の発信・還元を行いつつ、引き続き適切に執行すること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
1003	試験研究機関	超長寿社会における人口・経済・社会のモデリングと総合分析	令和2年度からの事業であり、必要な事業と認識しています。特に問題はありませんが、今後とも適切な予算執行とそのチェックについてお願いするところです。(井出 健二郎)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成し、令和4年度をもって終了すること。	-	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
1065	試験研究機関	自治体支援に向けた職域保険と地域保険の健康・医療・介護データの一元的分析支援研究	他の事業を推進する基盤として体制を整えるための経費であり、固有のアウトカム指標を持たないものとして整理する方がより適切ではないか。ただし成果を質的に検証する手段として研究評価委員会を位置付け、客観化を試みていることは高く評価される。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。	-	現状通り	外部有識者所見のとおり、本事業は他の事業を推進する基盤として体制を整えるための経費だが、本事業を行った結果、特定健診データ、レセプトデータ、介護データからなる統合データベース等の成果物が出てくることから、事業目標に対する事業の達成度を外部の委員から客観的に評価していただいた点数をアウトカム指標(現在のアウトカム指標)とすることが適当と考える。
1066	試験研究機関	国民移転勘定(NTA)プロジェクト	令和3年度からの事業で、国連支援の下で開発された資料作成方法に従った作業を行うもので、始まったばかりであり、現状維持を相当とします。(増田 正志)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
1067	試験研究機関	国際的な視点から見たわが国の労働移民政策の位置づけに関する総合的研究	人口が激減する中、労働移民政策について海外の動向を知ることは極めて重要なテーマであり、国でなければ困難な事業である。かつ経験のある機関がOECDのみであったことから、随意契約とはいえ、調達委員会に諮っており、透明性を確保した適切な執行であった。(松原 由美)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、令和3年度をもって終了すること。	-	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
1006	試験研究機関	日中韓感染症会議経費	アウトプットとアウトカム指標が逆ではないか。令和3年度の単発事業であるが、改善の方向性には、ここで得られたノウハウで、他の国際会議に活用できる運営上の留意点、ノウハウを記しておくことが期待される。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	事業の効果測定を適切に行えるよう、新たな成果指標を設定すること。	-	予定通り終了	ご指摘のとおり、アウトプットとアウトカムの指標が逆となっている。アウトプットが「日中韓感染症会議開催数」、アウトカムが「日中韓感染症会議における感染症研究に関する討議件数」であると捉えると、当初の予定通りの成果を達成したと言える。令和3年度の単発事業であり、当初の予定通りの成果を達成したため、令和3年度をもって終了するが、当該事業で得られたノウハウを他の事業にも活用するよう努める。
1007	試験研究機関	日中韓生物製剤シンポジウム経費	単年度完結事業。シンポジウムの成果を引き続き有効活用すること。(横田 響子)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、令和3年度をもって終了すること。	-	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
1008	試験研究機関	WHO南半球用インフルエンザワクチン株選定会議経費	R3年度限りの会議開催で、WEBによる開催で適切に執行されている。(栗原 美津枝)	終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、令和3年度をもって終了すること。	-	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
1009	試験研究機関	知的財産に係る事務体制構築経費	令和3年度からの事業であり、必要な事業と理解しています。特段意見することはありませんが、今後とも適切な予算執行とそのチェックについてお願いするところです。(井出 健二郎)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-
1010	試験研究機関	新興感染症対応のための実践的な平時体制強化	社会的重要性のきわめて高い事業であり、着実に推進することが強く望まれる。養成プログラム修了者数が当初目的に届いていないことから、継続的な改善の努力を講じられた。一者応札の解消について、引き続き取り組まれない。(大屋 雄裕)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。また、外部有識者のコメントを踏まえ、一者応札の解消に取り組むこと。	-	現状通り	実地疫学専門家養成を加速的に行うため、教材・研修のオンライン化(内容拡充・高度化の推進)、FETP修了者の地域ネットワーク構築も踏まえて、国立感染症研究所を中心に、複数のFETP拠点において実地疫学専門家養成の研修機会を構築し、修了者数の増加に努めていく。また、一者応札を改善するため、国立感染症研究所全庁舎による公告、類似契約業者への声掛け、公告期間の延長、入札要件の緩和等を実施する。入札説明会に参加したが応札しなかった者がいた場合にはヒアリングを行い、その改善点を検討するなどし、引き続き競争性の確保に努める。
1011	試験研究機関	健康危機緊急対応職員中央講習	感染症の拡大に対応する専門家を養成するための人材育成事業で、コロナで明け暮らした数年間を考えれば必須な事業と考えます。ただ、令和3年が初年度とはいえ、ネットラーニングを活用した講習受講者があまりに少なく、当事業の広い展開を期待します。(増田 正志)	事業内容の一部改善	成果実績が低調に推移している要因を分析し、執行率の改善を図ること。	-	年度内に改善を検討	事業初年度であること、オリンピック・パラリンピックおよび新型コロナのデルタ株・オミクロン株への対応に時間をとられ準備に時間を要したことなどが要因となり、開始できたのが年明けとなったため実施件数が少なくなった。令和4年度以降では引き続きオンライン形式を活用しつつ開催時期の前倒しを図るなどして、執行率の改善に努める。
1012	試験研究機関	治療薬・ワクチン開発研究の推進に向けた基盤整備と人材育成	今後も適正な執行に努めること。(松原 由美)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り	-

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
1013	試験研究機関	病原体・血清等バンク化を通じた検査・研究体制基盤強化事業費	緊急な時代ニーズに対応して創設された事業は、国こそが行い得る事業と思われる。得られた成果を確実にすること。また、次の緊急ニーズに備えるためには、改善の方向性には時代のニーズの変化をとらえた終了要件を設定することも大事である。なお、本事業のような緊急対応に求められた留意点を(次に同様のケースがあった場合より確実に対応するために)付記しておくことも期待される。(元吉 由紀子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き必要な予算を確保し、適切な執行に努める。なお、今後本事業を進めるうえで発生した留意点やノウハウがあれば、点検・改善結果欄に記載していく。
1017	厚生科学課 医政局 老健局	医療研究開発推進事業費補助金(保健衛生医療調査等推進事業費補助金等を含む)	健康長寿社会を支える重要な研究開発のため、多額の補助金を投入している事業で国民の関心も高い事業である。中長期にわたる研究開発を対象とした事業を複数行うにあたり、目標最終年度とともに中間目標の設定を行い進捗管理を適切に行うこと。また入札においては適正な競争環境をつくるよう努めること。(横田 響子)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 各事業において独立行政法人通則法第35条の6の規定に基づく中長期目標期間の最終年度を目標最終年度として設定しており、中間目標の設定についても検討し、引き続き適切な進捗管理を行う。また、入札において適正な競争環境を作る等、引き続き適正な執行に努める。
1017-1	厚生科学課	医療研究開発推進事業費補助金(医薬品プロジェクト)(保健衛生医療調査等推進事業費補助金を含む)	適切に執行されている。一者応札について競争環境の改善に努めること。目標最終年度である6年度に、目標の達成状況を踏まえ適切に事業を点検すること。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保するとともに、一者応札の改善に努めること。	-	現状通り 引き続き適正な執行に努めるとともに、一者応札の改善に取り組んでまいりたい。
1017-2	厚生科学課 医政局	医療研究開発推進事業費補助金(医療機器・ヘルスケアプロジェクト)(保健衛生医療調査等推進事業費補助金を含む)	支出Aの一者応札の理由はなぜでしょうか。かなりの予算額を計上されていますので。また、予算額が大きいことから、一度EBPMのフレームに合わせて事業全体を俯瞰してはいかがでしょうか。活動目標・成果目標などから、どんな政策目標に最終的に行き着くかなどが可視化されると思います。(井出 健二郎)	現状通り	AI・IoT技術、計測技術、ロボティクス技術等を融合的に活用し、診断・治療の高度化や、予防・QOL向上に資する医療機器・ヘルスケアに関する研究開発を行う経費であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。また、支出先Aの一者応札の理由について確認すること。	-	現状通り 支出先Aについては、複数の事業者から関心が示されたものの、結果的に入札は一者応札となった。入札に参加しなかった企業に対し確認したところ、仕様、調達手続きについては、適当との意見であったが、受注の見込みがないと判断した等の事業者における経営判断が、応札しなかった理由と考えられる。今後については事業全体を俯瞰するためにロジックモデルの作成を検討するなど、引き続き適切な執行に努める。
1017-3	厚生科学課 医政局	医療研究開発推進事業費補助金(再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト)	長期にわたることも多い研究開発を対象とするものでありやむを得ない側面もあるが、目標最終年度だけでなく中間目標を設定することにより進捗状況を可視化することを検討されたい。引き続き一者応札の解消に取り組まされたい。(大屋 雄裕)	現状通り	再生・細胞医療の実用化に向けた基礎研究等及び遺伝子治療に関する研究開発を行うための経費であり、引き続き、必要な予算額を確保するとともに、一者応札の改善に努めること。また、中間目標の設定についても検討すること。	-	現状通り 独立行政法人通則法第35条の6の規定に基づく中長期目標期間の最終年度を目標最終年度と設定しているところであるが、中間目標の設定についても検討する。また、一者応札の解消に取り組む、適正な執行に努める。
1017-4	厚生科学課 医政局	医療研究開発推進事業費補助金(ゲノム・データ基盤プロジェクト)(保健衛生医療調査等推進事業費補助金を含む)	先端医療研究のためのゲノム解析、その結果のデータを集積管理するバイオ・バンク、コホート等の情報は、我が国の医療にとって最重要であり、限られた予算の下で、諸外国で同様の活動をしている機関と競い合っています。当該事業はその重要性に鑑み、現状維持と判断します。(増田 正志)	現状通り	ゲノム・データ基盤の整備・利活用を促進し、ライフステージを俯瞰した疾患の発症・重症化予防、診断、治療等に資する研究開発を推進するための経費であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き適正な執行に努める。
1017-5	厚生科学課 医政局	医療研究開発推進事業費補助金(疾患基礎研究プロジェクト)(保健衛生医療調査等推進事業費補助金を含む)	今後も適正な執行に努めること。(松原 由美)	現状通り	脳機能、免疫、老化等の生命現象の機能解明や、様々な疾患を対象にした疾患メカニズムの解明等のための基礎的な研究開発を行うための経費であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適切な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き適正な執行に努める。
1017-6	厚生科学課 医政局	医療研究開発推進事業費補助金(シーズ開発・研究基盤プロジェクト)(保健衛生医療調査等推進事業費補助金を含む)	アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制の構築や国際共同研究には、予算やテクニカル問題とは別に目に見えない組織間の風土体質に係る障害があるものと推察される。アウトプットにおいては、これらの障害と克服目標を設定し、実施者の苦勞・葛藤を乗り越えやすくする必要があるのでないか。イノベーションは予測困難で目標設定が難しいものと考えられるが、最終目標を設定している以上は仮目標でも設定して、検証によるふり返り学習に生かしていただきたい。形式的な評価に左右されず、有意義な成果が得られることが期待される。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	アウトプット指標の見直しについて検討すること。	-	現状通り 目に見えない障害について具体的な目標設定をすることは困難ではあるが、円滑な事業実施に向け検討する。引き続き適正な執行に努める。
1018	厚生科学課	国立感染症研究所施設周辺安全対策等事業費補助金	引き続き適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	一種病原体等を取り扱う国立感染症研究所施設の周辺地域における安全対策施設等の整備を行うことにより、同施設周辺の安全対策や災害・事故対策及び避難対応の更なる強化を図るために必要な経費であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き適正な事業執行に努める。
1019	厚生科学課	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所運営費交付金	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の運営費交付金であり、研究開発成果の発揮のためには継続的に予算が必要であるが、約半部分が予備費等とあることからその内容を確認し、SIP事業の予算の移し替えである旨点検した。引き続き、適切に予算確保に努めて頂きたい。(栗原 美津枝)	現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 引き続き適切な予算確保、執行に努める。
1028	政策統括官(統計・情報政策、労使関係担当)	人口動態調査費	必要な事業と認識しています。ただし、開始年度からしますと、長期の事業です。継続・普遍であることも必要ですが、一度これまでの事業の振り返りをしてもよろしいかと思います。(井出 健二郎)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討 これまでの事業内容をあらためて確認するとともに、一者応札の改善に向けて、実績のある業者に声かけを行いつつ、仕様書については事業規模等が容易に推測できるよう可能な限り詳細に記載するよう努める。

レビューシート番号	部局名	事業名	外部有識者コメント	行政事業レビュー推進チームの所見		反映状況	
				評価結果	所見の概要	反映額(百万円)	反映内容
1029	政策統括官(統計・情報政策、労使関係担当)	医療施設調査費	引き続き一者応札の解消に取り組まれない。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討 公募期間等は必要な期間とれていることから、一者応札にならないよう、仕様書を取りに来た事業所宛てに声がけを行い、一者応札の防止に努める。
1037	政策統括官(統計・情報政策、労使関係担当)	縦断調査費	特定出生児及び特定年齢の代表サンプルに対してアンケート調査をすることで、今後の厚生労働行政の企画立案の基礎資料とするもので、継続的な観察調査が必要であり、現状維持を認めます。(増田 正志)	事業内容の一部改善	謝礼品の購入について一者応札となっている要因を分析し、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討 例年、入札に参加していた事業者ヒアリングをしたところ、納品案件が多かったことなどから公告を見逃してしまったとのことであり、公告時期が年末にさしかかり物品調達案件の重なる時期であったことが要因と考えられる。このため、調達スケジュールを早めるなどし、事業者の公告の見逃し等を防ぐようにする。
1038	政策統括官(統計・情報政策、労使関係担当)	賃金引上げ等の実態に関する調査費	今後も適正な執行に努めること。(松原 由美)	現状通り	厚生労働省行政の施策決定に必要な統計調査であるため、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り 厚生労働省行政の施策決定に必要な統計調査であるため、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努める。
1040	政策統括官(統計・情報政策、労使関係担当)	毎月勤労統計調査費	統計は、迅速正確な集計・公表とともに、政策や国民活動に有効活用されることに目的がある。それゆえ、点検結果・改善方向性に記された国民へのわかりやすさの向上意義は大きくある。ならば、アウトプット・アウトカムとして、新たに利用者へのアンケート調査とHPなどへのアクセス数などを設け、公表の仕方についてのサービス向上についての努力を見える化することを提案する。なお、コスト削減については引き続き努力をいただきたい。(元吉 由紀子)	事業内容の一部改善	厚生労働省行政の施策決定に必要な統計調査であるため、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。なお、外部有識者のコメントを踏まえ、適切なアウトプット・アウトカムの指標を検討すること。	-	年度内に改善を検討 引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行を行うよう努める。また、外部有識者の提案を踏まえ、新たなアウトプットを検討し、より分かりやすい公表資料を作成できるよう努める。
1045	医薬・生活衛生局	独立行政法人医薬品医療機器総合機構審査等勘定運営費交付金	活動実績集計結果については早急に反映を行い、引き続き適正な事業執行に努めること。(横田 響子)	現状通り	医薬品等の品質、有効性及び安全性の向上のために必要な事業であるため、活動実績を踏まえ、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り
1052	年金局	過誤納保険料の払戻し等に必要経費(年金特別会計厚生年金勘定)	執行率が低く、変動しているものの、見込みが困難な事業と推察される。今後も必要な予算を確保し、適切に対応するよう努めること。(栗原 美津枝)	現状通り	必要不可欠な事業であるため、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	現状通り
1053	年金局	年金制度財政計算関係経費	事業がデジタル庁に移管される旨了解しました。あえて申しますと、開始年度からずいぶん継続的な事業であり、一度これまでの振り返りをいただき、今後につなげていただきたいと思えます。(井出 健二郎)	終了予定	国民年金法及び厚生年金保険法に基づき、国民年金及び厚生年金保険の財政状況の検証を行うために必要な事業であるが、本事業はデジタル庁に移管するため、令和3年度をもって終了するが、今後の事業については、ご指摘を踏まえ、今後活用できるよう検討することとしたい。なお、移管後においても引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。	-	予定通り終了 当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。
1055	障害保健福祉部	障害福祉サービス等報酬改定影響検証事業	実態把握・効果検証を通じて政策判断の基礎資料を得るための事業でありそれ自体としてのアウトカム指標を設定しがたいとの説明は首肯できる。調査票回収率が低調に推移しており、執行率も低い状況に留まっているので、改善の方策を検討するか予算積算の適正化が必要ではないかと考えられる。引き続き一者応札の解消に取り組まれない。(大屋 雄裕)	事業内容の一部改善	一者応札となっている事業について要因を分析し、改善を図ること。	-	年度内に改善を検討 予定価格積算においては、新規参入事業者でも事業の実施が可能となるように、多様な障害福祉サービスを集計・分析するため、複数班で作業を実施できる人件費を見積もっているため、引き続き適切な予算要求を実施していくこととする。調査票回収率向上に向け、督促強化などを検討する。また、事業を委託するにあたって、入札の競争性をより高めるため、公示期間の延長等について検討する。